

# 合併に関する 町民意識調査 結果報告





# 目次

## contents

頁	
3	集計結果について
3	アンケート回収率
3	アンケート回答率
4	Q1 男女構成
4	Q2 年齢構成
4	Q3 職業構成
5	Q4 行政区構成
6	Q5 合併への関心 年代別・職業別・行政区別
7	Q6 合併への賛否 年代別・職業別・行政区別
10	Q7 合併への期待 年代別・職業別・その他の意見
11	Q8 合併への不安 年代別・職業別・その他の意見
13	Q9 合併希望市町村 年代別・職業別・行政区別 その他の意見
15	Q10 合併相手で重視した点 年代別・職業別・その他の意見
16	Q11 合併反対理由 年代別・職業別・その他の意見
17	Q12 合併についての意見
18	Q13 板倉町の現状について
30	Q14 めざすまちづくり 年代別・職業別
31	Q15 まちづくりについてのご意見
32	板倉町の合併について（板倉町長）

# 集

## 集計結果について

町では、平成 22 年 9 月 1 日、町内全世帯（各行政区加入世帯）を対象に「合併に関する町民意識調査」を実施しました。大変多くの皆様にご協力いただき、回収率 89.2%となりました。

アンケート結果については「合併に賛成」と回答されたかたが 23.7%、「どちらかといえば賛成」と回答されたかたが 22.3%、「合併することに反対」と回答されたかたは 8.8%、「どちらからかといえば反対」と回答されたかたが 10.2%となりました。

また、合併するとしたら、1市2町（板倉町、明和町、館林市）での合併と回答されたかたが全体の 54.7%、1市5町（館林市・邑楽郡）が 20.8%、1市1町（板倉町、館林市）が 16.7%となりました。そのほか、「合併した場合、町がどのようになるのか心配」など、合併に対する不安の声も多くいただきました。

町では皆様からいただいた貴重なご意見を今後の市町村合併の取り組みの参考とさせていただきます。

### 1. 調査の目的

市町村合併について、広く町民の意識、意向を把握し、合併の進め方やまちづくりの方向性を判断するための基礎資料とする。

### 2. 調査の方法と回収結果

①調査対象 平成 22 年 9 月 1 日現在、各行政区加入世帯 4, 5 2 5 世帯。回答者は世帯に属する 20 歳以上のかた。

②調査方法 無記名形式、配布・回収は各行政区

③調査期間 自平成 22 年 9 月 1 日  
至平成 22 年 9 月 27 日

④配布資料 『合併に関する町民意識調査』とともに、参考資料として館林市邑楽郡内のサービス比較等を掲載した『市町村合併に関する資料』を同封。

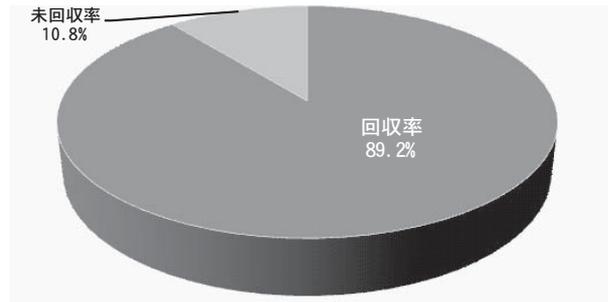
### 3. 本報告書の見方について

比率はすべて百分率（%）で表しています。

政区役員の皆様には大変お世話になりました。ご協力に感謝致します。

配布枚数	4,525 枚
回収枚数	4,037 枚
未回収枚数	488 枚
回収率	89.2%

### 回収率 89.2%



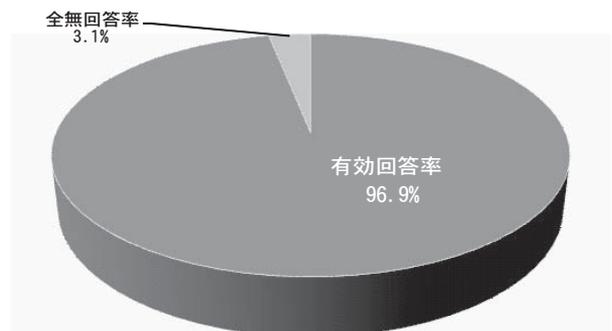
# 答

## アンケート回答率

回収されたアンケートの内、回答の記入が一つもないものを全無回答とし、どれか一つでも回答の記入があったものを有効回答とします。有効回答は 3, 9 1 1 枚で 96.9%、全無回答は 1 2 6 枚で 3.1%となりました。

回収枚数	4,037 枚
有効回答	3,911 枚
全無回答	126 枚
有効回答率	96.9%

### 有効回答率 96.9%



# 収

## アンケート回収率

行政区に加入している 4, 5 2 5 世帯に配布をお願いし、4, 0 3 7 世帯からご回答をいただきました。回収率は 89.2%、未回収率は 10.8%となりました。アンケート調査にご回答いただいた町民の皆様、また、配布・回収に多大なるご尽力をいただいた各行

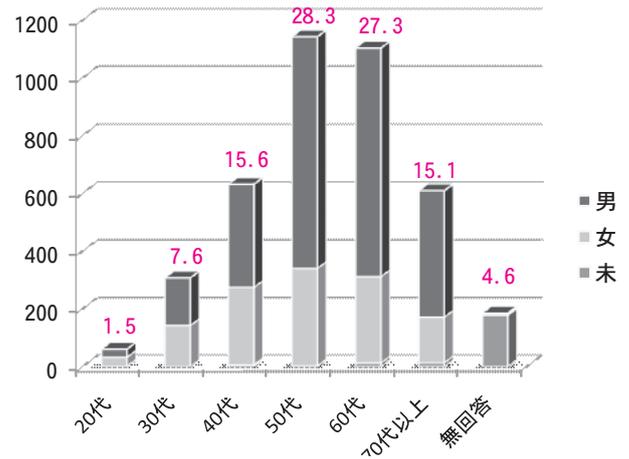
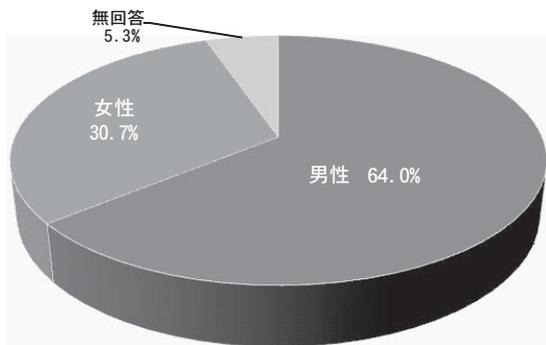
# Q1 男女構成

## Q1. あなたの性別について

回答者の男女比率は男性が64.0%、女性が30.7%と男性がやや多い結果となりました。「無回答」とは性別記入のなかった件数になります。

区分	回答数	構成比
男性	2,585	64.0
女性	1,240	30.7
無回答	212	5.3
計	4,037	100.0

男女構成

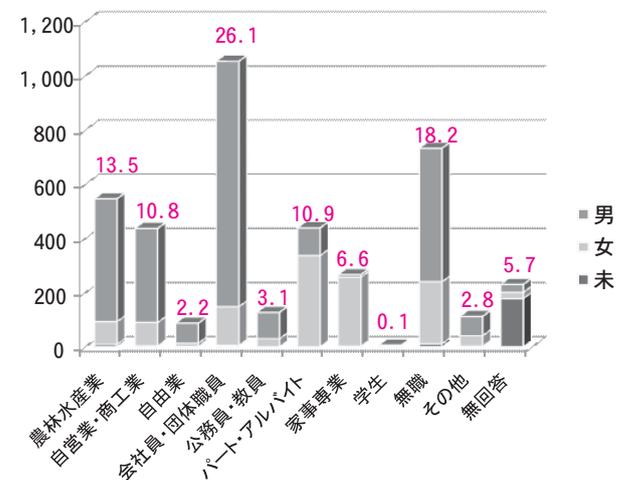


# Q3 職業構成

## Q3. あなたの職業は？

職業別では、会社員・団体職員が最も多く26.1%。次いで、無職、農林水産業と続きます。

区分	男	女	未	合計	構成比
農林水産業	453	84	9	546	13.5
自営業・商工業	347	87	3	437	10.8
自由業	74	12	1	87	2.2
会社員・団体職員	906	143	5	1,054	26.1
公務員・教員	97	30	0	127	3.1
パート・アルバイト	102	337	0	439	10.9
家事専業	9	255	2	266	6.6
学生	4	1	1	6	0.1
無職	493	229	11	733	18.2
その他	71	39	2	112	2.8
無回答	29	23	178	230	5.7
合計	2,585	1,240	212	4,037	100.0



# Q2 年齢構成

## Q2. あなたの年齢は？

年代別では50歳代が28.3%で一番多く、次いで、60歳代が27.3%、40歳代が15.6%、70歳以上が15.1%、30歳代が7.6%、20歳代が1.5%の順になり、年齢未記入者は185件でした。

※表、グラフ上の「未」とは、性別の回答がなかったものです。以後各項目において同様とします。

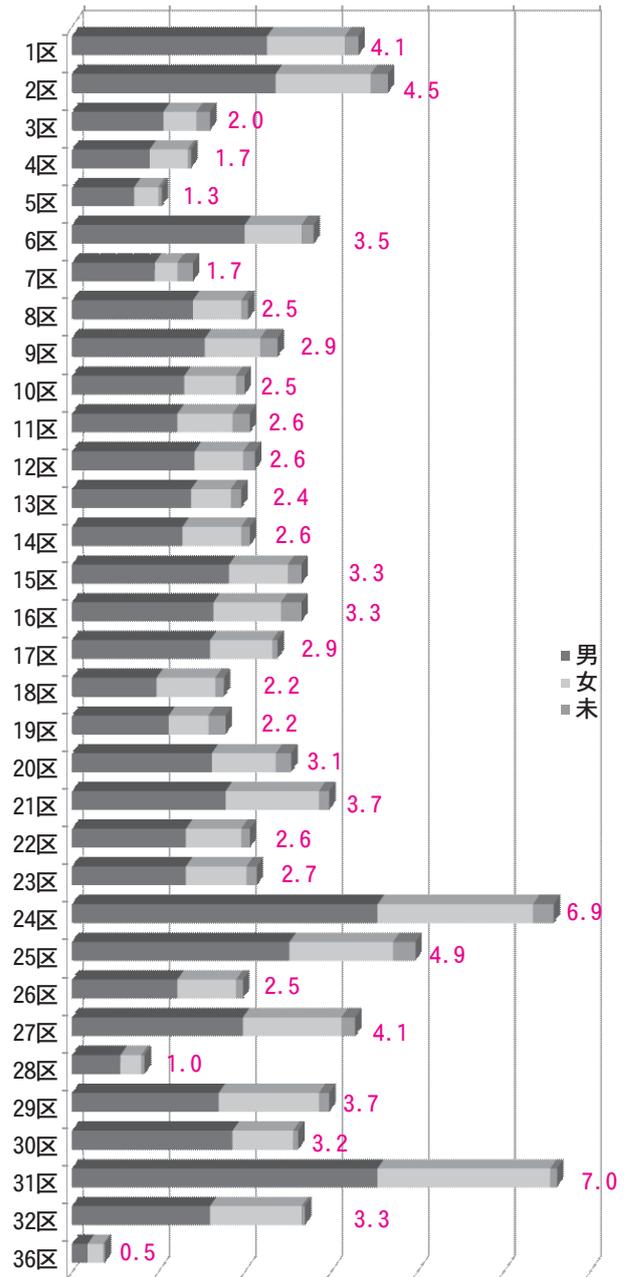
区分	回答数				構成比
	男	女	未	合計	
20歳代	28	31	1	60	1.5
30歳代	165	142	0	307	7.6
40歳代	357	268	6	631	15.6
50歳代	802	338	2	1,142	28.3
60歳代	792	299	12	1,103	27.3
70歳以上	438	158	13	609	15.1
無回答	3	4	178	185	4.6
計	2,585	1,240	212	4,037	100.0

# Q4 行政区構成

## Q4. あなたがお住まいの行政区は？

行政区別の構成は下表のとおり、各行政区ともほぼ人口規模に応じた割合となっています。最も割合が多いのが31区の7.0%、続いて24区の6.9%、25区の4.9%となっています。また、特に割合の多かった31区、24区、25区においては、いずれも会社員・団体職員の回答が一番多い結果となりました。

区分	男	女	未	合計	構成比
1区	113	45	8	166	4.1
2区	118	55	10	183	4.5
3区	53	19	8	80	2.0
4区	45	22	2	69	1.7
5区	36	14	2	52	1.3
6区	100	33	7	140	3.5
7区	48	13	9	70	1.7
8区	70	28	4	102	2.5
9区	77	32	10	119	2.9
10区	65	30	5	100	2.5
11区	61	32	10	103	2.6
12区	71	28	7	106	2.6
13区	69	23	6	98	2.4
14区	64	34	5	103	2.6
15区	91	34	8	133	3.3
16区	82	39	12	133	3.3
17区	80	36	3	119	2.9
18区	49	34	5	88	2.2
19区	56	23	10	89	2.2
20区	81	37	9	127	3.1
21区	89	54	6	149	3.7
22区	66	32	5	103	2.6
23区	66	35	6	107	2.7
24区	177	90	12	279	6.9
25区	126	60	13	199	4.9
26区	61	34	4	99	2.5
27区	99	57	8	164	4.1
28区	28	12	2	42	1.0
29区	85	58	6	149	3.7
30区	93	35	3	131	3.2
31区	177	100	4	281	7.0
32区	80	53	2	135	3.3
36区	9	9	1	19	0.5
合計	2,585	1,240	212	4,037	100.0



### ●各行政区の年齢構成

20歳代の回答割合が一番大きかった行政区は、36区で5.3%。30歳代では31区の26.7%、40歳代では32区の26.7%、50歳代では12区の42.5%、60歳代では36区の36.8%、70歳以上では28区の23.8%となっています。

### ●各行政区の職業構成

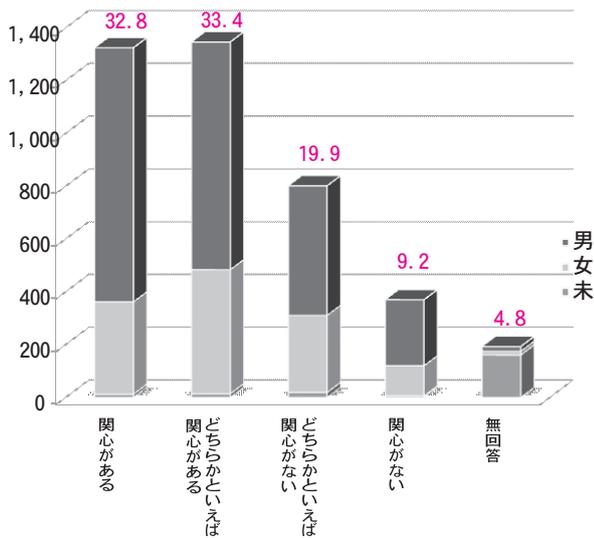
農林水産業の回答割合が一番大きかった行政区は、28区の26.2%、自営業・商工業は19区の18.0%、自由業は7区の8.6%、会社員・団体職員は36区の42.1%、公務員・教員は31区の9.6%、パート・アルバイトは11区の18.4%、家事専業は36区の15.8%、学生は5区の1.9%、無職は10区の34%となっています。

# Q5 合併への関心

Q5. あなたは市町村合併について関心がありますか？（1つ選択）

「関心がある」または「どちらかといえば関心がある」と答えたかたは全体の66.2%で、「どちらかといえば関心がない」「関心がない」と答えたかたの29.1%を大きく上回っています。

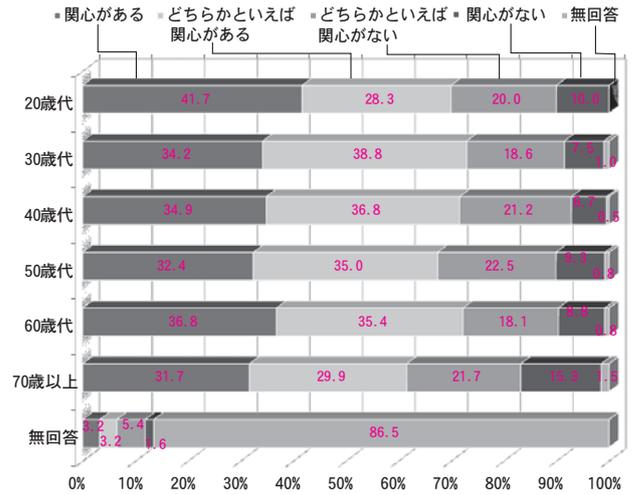
区分	男	女	未	合計	構成比
関心がある	963	350	12	1,325	32.8
どちらかといえば関心がある	863	470	14	1,347	33.4
どちらかといえば関心がない	491	292	19	802	19.9
関心がない	250	114	6	370	9.2
無回答	18	14	161	193	4.8
合計	2,585	1,240	212	4,037	100.0



## ◆年代別で見た場合

どの年代でも合併への関心が高い結果となりました。※表・グラフ中の数値単位はすべて%です。

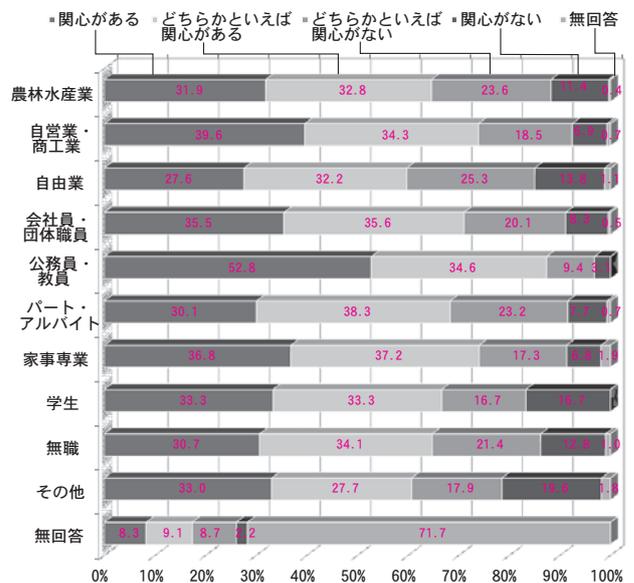
区分	関心がある	どちらかといえば関心がある	どちらかといえば関心がない	関心がない	無回答
20歳代	41.7	28.3	20.0	10.0	0.0
30歳代	34.2	38.8	18.6	7.5	1.0
40歳代	34.9	36.8	21.2	6.7	0.5
50歳代	32.4	35.0	22.5	9.3	0.8
60歳代	36.8	35.4	18.1	8.8	0.8
70歳以上	31.7	29.9	21.7	15.3	1.5
無回答	3.2	3.2	5.4	1.6	86.5



## ◆職業別でみた場合

合併への関心を職業別でみた場合、公務員・教員の関心が一番高く、次いで自営業・商工業、家事專業、自由業と続きます。（単位：%）

区分	関心がある	どちらかといえば関心がある	どちらかといえば関心がない	関心がない	無回答
農林水産業	31.9	32.8	23.6	11.4	0.4
自営業・商工業	39.6	34.3	18.5	6.9	0.7
自由業	27.6	32.2	25.3	13.8	1.1
会社員・団体職員	35.5	35.6	20.1	8.3	0.5
公務員・教員	52.8	34.6	9.4	3.1	0.0
パート、アルバイト	30.1	38.3	23.2	7.7	0.7
家事專業	36.8	37.2	17.3	6.8	1.9
学生	33.3	33.3	16.7	16.7	0.0
無職	30.7	34.1	21.4	12.8	1.0
その他	33.0	27.7	17.9	19.6	1.8
無回答	8.3	9.1	8.7	2.2	71.7

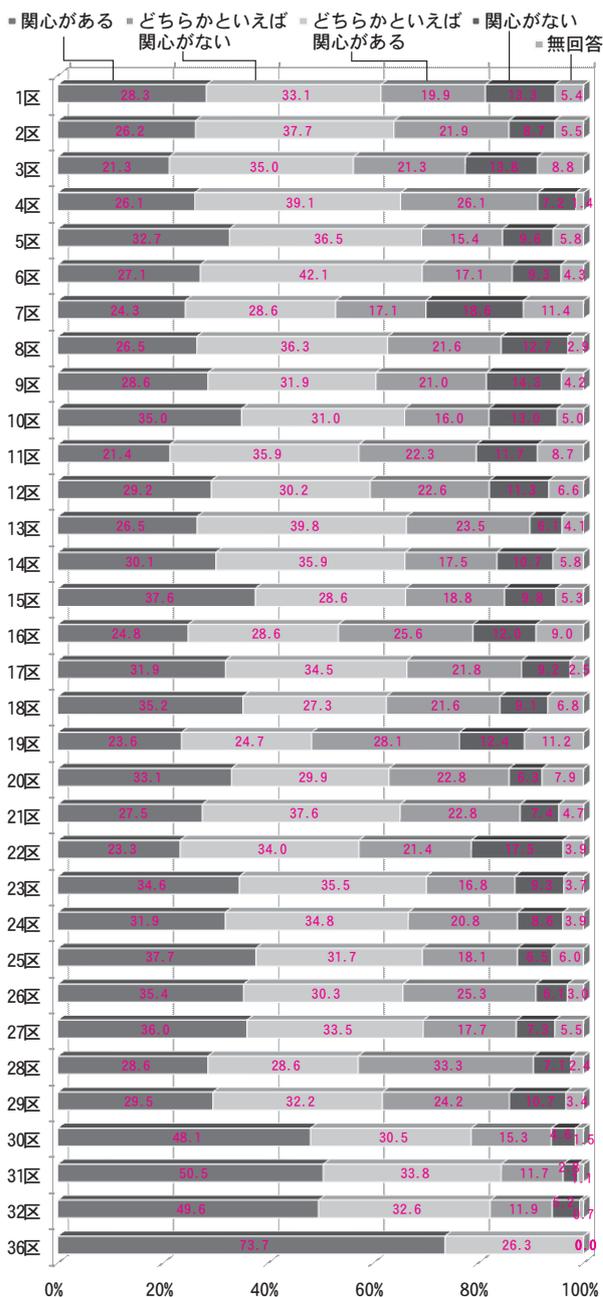


# Q5 合併への関心

## ◆行政区別でみた場合

行政区別で「関心がある」「どちらかといえば関心がある」と回答したかたの割合が多かったのは、23区の70.1%や27区の69.5%、25区69.4%、6区の69.2%であり、30区～32区・36区のニュータウン地区においては、いずれも65%を超える高い割合となりました。(単位：%)

区分	関心がある	どちらかといえば関心がある	どちらかといえば関心がない	関心がない	無回答
1区	28.3	33.1	19.9	13.3	5.4
2区	26.2	37.7	21.9	8.7	5.5
3区	21.3	35.0	21.3	13.8	8.8
4区	26.1	39.1	26.1	7.2	1.4
5区	32.7	36.5	15.4	9.6	5.8
6区	27.1	42.1	17.1	9.3	4.3
7区	24.3	28.6	17.1	18.6	11.4
8区	26.5	36.3	21.6	12.7	2.9
9区	28.6	31.9	21.0	14.3	4.2
10区	35.0	31.0	16.0	13.0	5.0
11区	21.4	35.9	22.3	11.7	8.7
12区	29.2	30.2	22.6	11.3	6.6
13区	26.5	39.8	23.5	6.1	4.1
14区	30.1	35.9	17.5	10.7	5.8
15区	37.6	28.6	18.8	9.8	5.3
16区	24.8	28.6	25.6	12.0	9.0
17区	31.9	34.5	21.8	9.2	2.5
18区	35.2	27.3	21.6	9.1	6.8
19区	23.6	24.7	28.1	12.4	11.2
20区	33.1	29.9	22.8	6.3	7.9
21区	27.5	37.6	22.8	7.4	4.7
22区	23.3	34.0	21.4	17.5	3.9
23区	34.6	35.5	16.8	9.3	3.7
24区	31.9	34.8	20.8	8.6	3.9
25区	37.7	31.7	18.1	6.5	6.0
26区	35.4	30.3	25.3	6.1	3.0
27区	36.0	33.5	17.7	7.3	5.5
28区	28.6	28.6	33.3	7.1	2.4
29区	29.5	32.2	24.2	10.7	3.4
30区	48.1	30.5	15.3	4.6	1.5
31区	50.5	33.8	11.7	2.8	1.1
32区	49.6	32.6	11.9	5.2	0.7
36区	73.7	26.3	0.0	0.0	0.0



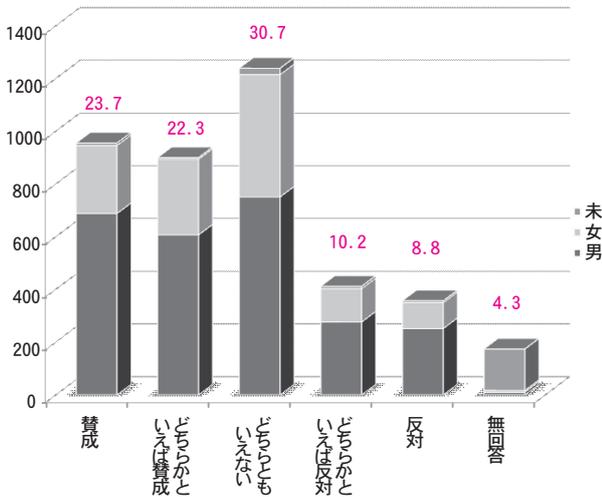
# Q6 合併への賛否

Q6. あなたは板倉町が他市町村と合併することについてどう思われますか？(1つ選択)

「賛成(23.7%)」または「どちらかといえば賛成(22.3%)」と回答されたかたの割合は、全体の46.0%で、「どちらかといえば反対(10.2%)」または「反対(8.8%)」と答えたかたの割合の19.0%を大きく上回る結果となりました。しかし、「どちらともいえない」と答えたかたの割合も30.7%を占める結果となりました。

# Q6 合併への賛否

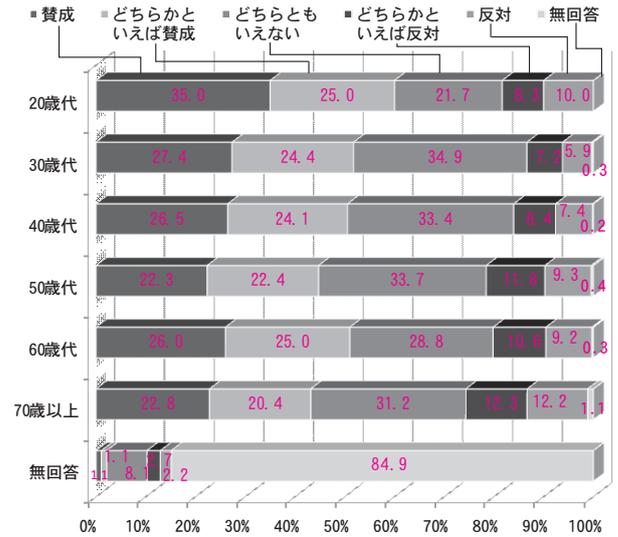
区分	男	女	未	回答数	構成比
賛成	688	258	9	955	23.7
どちらかといえば賛成	607	287	6	900	22.3
どちらともいえない	751	464	24	1,239	30.7
どちらかといえば反対	277	126	9	412	10.2
反対	252	98	7	357	8.8
無回答	10	7	157	174	4.3
合計	2,585	1,240	212	4,037	100.0



## ◆年代別でみた割合

合併の賛否を年代別でみた場合、20歳代では、「賛成」、「どちらかといえば賛成」の割合が60.0%。続いて30歳代の51.8%、60歳代の51.0%と続きます。すべての年代で「賛成」「どちらかといえば賛成」との回答が「反対」「どちらかといえば反対」の回答を上回る結果となりました。(単位: %)

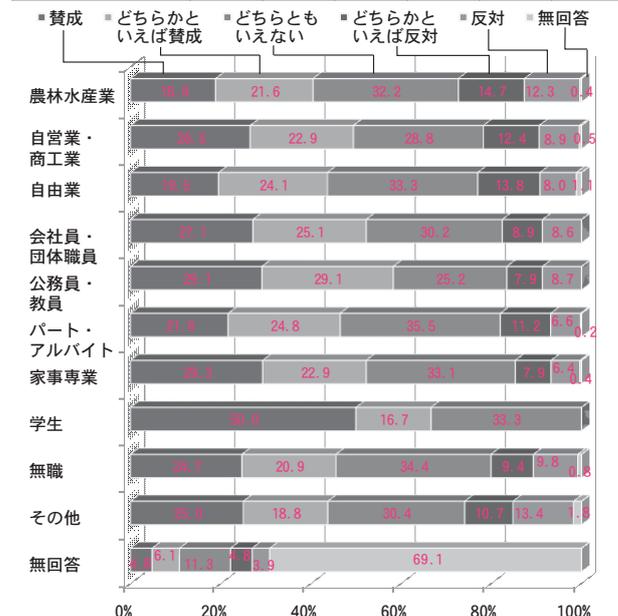
区分	賛成	どちらかといえば賛成	どちらともいえない	どちらかといえば反対	反対	無回答
20歳代	35.0	25.0	21.7	8.3	10.0	0.0
30歳代	27.4	24.4	34.9	7.2	5.9	0.3
40歳代	26.5	24.1	33.4	8.4	7.4	0.2
50歳代	22.3	22.4	33.7	11.8	9.3	0.4
60歳代	26.0	25.0	28.8	10.6	9.2	0.3
70歳以上	22.8	20.4	31.2	12.3	12.2	1.1
無回答	1.1	1.1	8.1	2.7	2.2	84.9



## ◆職業別でみた割合

「賛成」「どちらかといえば賛成」の割合が多かったのが、学生66.7%、公務員・教員の58.2%、会社員・団体職員52.2%と続きます。(単位: %)

区分	賛成	どちらかといえば賛成	どちらともいえない	どちらかといえば反対	反対	無回答
農林水産業	18.9	21.6	32.2	14.7	12.3	0.4
自営業・商工業	26.5	22.9	28.8	12.4	8.9	0.5
自由業	19.5	24.1	33.3	13.8	8.0	1.1
会社員・団体職員	27.1	25.1	30.2	8.9	8.6	0.0
公務員・教員	29.1	29.1	25.2	7.9	8.7	0.0
パート、アルバイト	21.6	24.8	35.5	11.2	6.6	0.2
家事専業	29.3	22.9	33.1	7.9	6.4	0.4
学生	50.0	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0
無職	24.7	20.9	34.4	9.4	9.8	0.8
その他	25.0	18.8	30.4	10.7	13.4	1.8
無回答	4.8	6.1	11.3	4.8	3.9	69.1



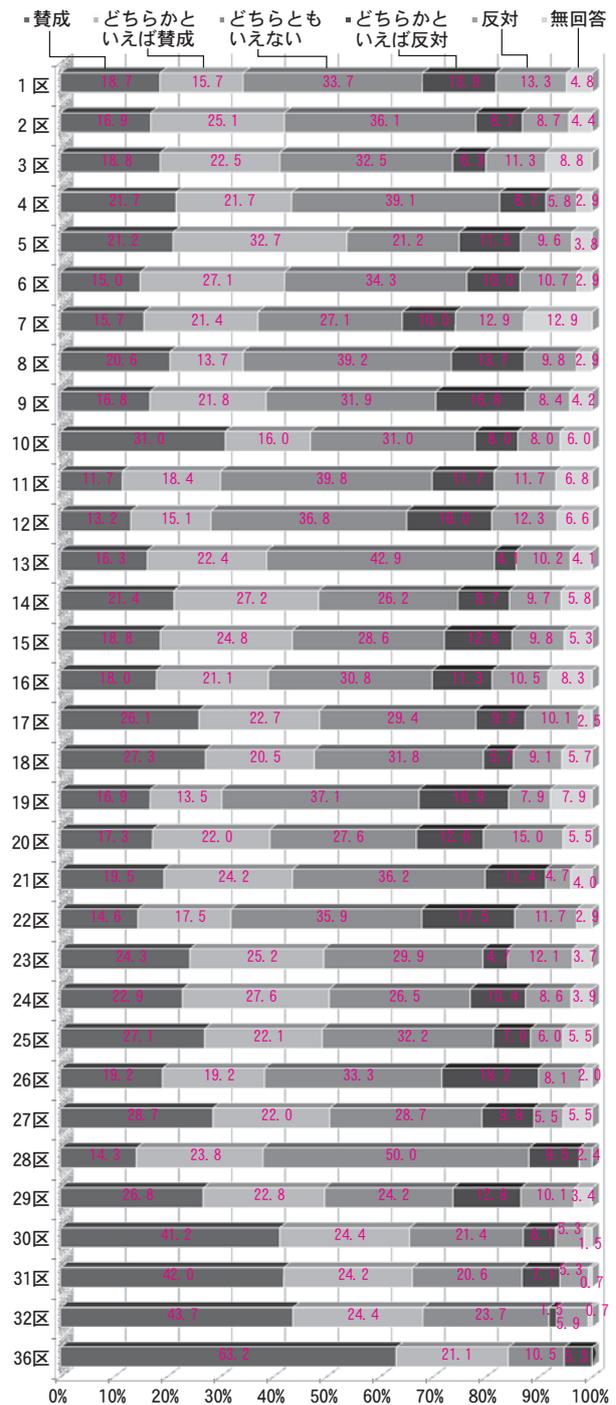
# Q6 合併への賛否

## ◆行政区別でみた場合

行政区別で「賛成」または「どちらかといえば賛成」と答えた割合が最も高かった行政区は36区の84.3%（内賛成63.2%）、次いで32区の68.1%（内賛成43.7%）、31区の66.2%（内賛成42.0%）、30区の65.6%（内賛成41.2%）といずれもニュータウン地区においては非常に高い結果であり、その他の行政区では、5区の53.9%（内賛成21.2%）や27区の50.7%（内賛成28.7%）、24区の50.5%（内賛成22.9%）などで高い割合となりました。また、「反対」「どちらかといえば反対」と答えた割合が高かった行政区は、22区の29.2%、12区の28.3%、20区の27.6%、「どちらともいえない」との回答が多かったのが、28区の50%、13区の42.9%、11区の39.8%という結果となりました。

区分	賛成	どちらか といえば賛成	どちらとも いえない	どちらか といえば反対	反対	無回答
1区	18.7	15.7	33.7	13.9	13.3	4.8
2区	16.9	25.1	36.1	8.7	8.7	4.4
3区	18.8	22.5	32.5	6.3	11.3	8.8
4区	21.7	21.7	39.1	8.7	5.8	2.9
5区	21.2	32.7	21.2	11.5	9.6	3.8
6区	15.0	27.1	34.3	10.0	10.7	2.9
7区	15.7	21.4	27.1	10.0	12.9	12.9
8区	20.6	13.7	39.2	13.7	9.8	2.9
9区	16.8	21.8	31.9	16.8	8.4	4.2
10区	31.0	16.0	31.0	8.0	8.0	6.0
11区	11.7	18.4	39.8	11.7	11.7	6.8
12区	13.2	15.1	36.8	16.0	12.3	6.6
13区	16.3	22.4	42.9	4.1	10.2	4.1
14区	21.4	27.2	26.2	9.7	9.7	5.8
15区	18.8	24.8	28.6	12.8	9.8	5.3
16区	18.0	21.1	30.8	11.3	10.5	8.3
17区	26.1	22.7	29.4	9.2	10.1	2.5
18区	27.3	20.5	31.8	5.7	9.1	5.7
19区	16.9	13.5	37.1	16.9	7.9	7.9
20区	17.3	22.0	27.6	12.6	15.0	5.5
21区	19.5	24.2	36.2	11.4	4.7	4.0
22区	14.6	17.5	35.9	17.5	11.7	2.9
23区	24.3	25.2	29.9	4.7	12.1	3.7
24区	22.9	27.6	26.5	10.4	8.6	3.9
25区	27.1	22.1	32.2	7.0	6.0	5.5
26区	19.2	19.2	33.3	18.2	8.1	2.0
27区	28.7	22.0	28.7	9.8	5.5	5.5
28区	14.3	23.8	50.0	9.5	2.4	0.0
29区	26.8	22.8	24.2	12.8	10.1	3.4
30区	41.2	24.4	21.4	6.1	5.3	1.5
31区	42.0	24.2	20.6	7.1	5.3	0.7
32区	43.7	24.4	23.7	1.5	5.9	0.7
36区	63.2	21.1	10.5	5.3	0.0	0.0

区分	賛成	どちらか といえば賛成	どちらとも いえない	どちらか といえば反対	反対	無回答
26区	19.2	19.2	33.3	18.2	8.1	2.0
27区	28.7	22.0	28.7	9.8	5.5	5.5
28区	14.3	23.8	50.0	9.5	2.4	0.0
29区	26.8	22.8	24.2	12.8	10.1	3.4
30区	41.2	24.4	21.4	6.1	5.3	1.5
31区	42.0	24.2	20.6	7.1	5.3	0.7
32区	43.7	24.4	23.7	1.5	5.9	0.7
36区	63.2	21.1	10.5	5.3	0.0	0.0

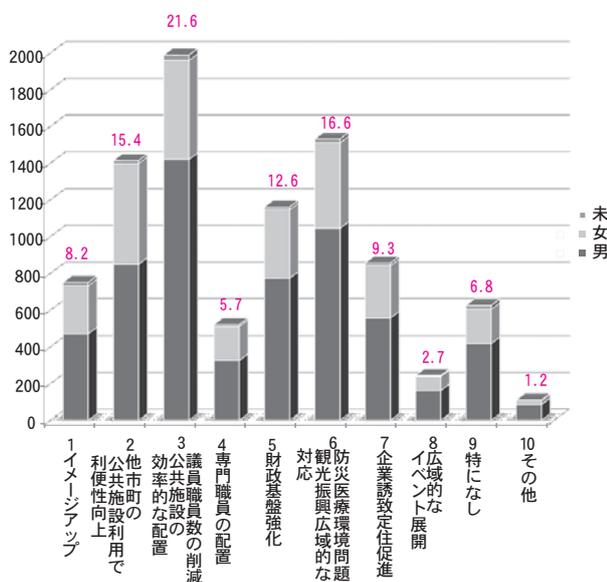


# Q7 合併への期待

Q7. 板倉町が合併すると仮定した場合、どのようなことを期待しますか？（3つまで選択）

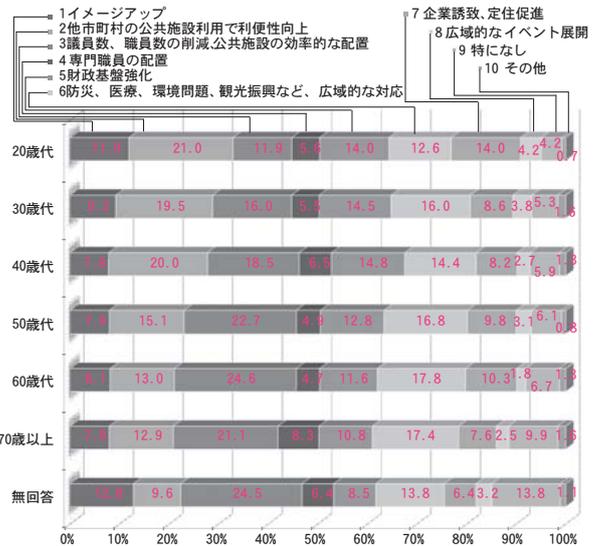
合併への期待では、「3. 議員数・職員数の削減・行政機能の効率化」と回答された割合は21.6%、また、「6. 防災、医療、環境、観光等の課題への広域的対応」に期待すると回答された割合は16.6%。「2. 他市町の公共施設の利用」15.4%などに対する期待が特に高い結果となりました。

区分	男	女	未	合計	構成比
1. イメージアップが図られ、まちの魅力、にぎわいが増す	471	262	17	750	8.2
2. 他市町の公共施設が使えるなど、利便性が向上する	850	548	16	1,414	15.4
3. 議員数・職員数の削減や道路・施設の効率的配置など、行政機能の効率化が図られる	1,420	539	29	1,988	21.6
4. 専門職員の配置等により行政サービスが向上する	326	185	10	521	5.7
5. 財政規模が大きくなり財政基盤が強化される	773	373	15	1,161	12.6
6. 防災、医療、環境、観光振興等、町域の枠を超えて広域的に対応できる	1,045	466	20	1,531	16.6
7. イメージアップによる企業誘致や定住促進につながる	557	285	14	856	9.3
8. 広域的なイベント展開ができる	162	77	5	244	2.7
9. 特になし	417	187	21	625	6.8
10. その他	85	23	2	110	1.2
合計	6,106	2,945	149	9,200	100.0



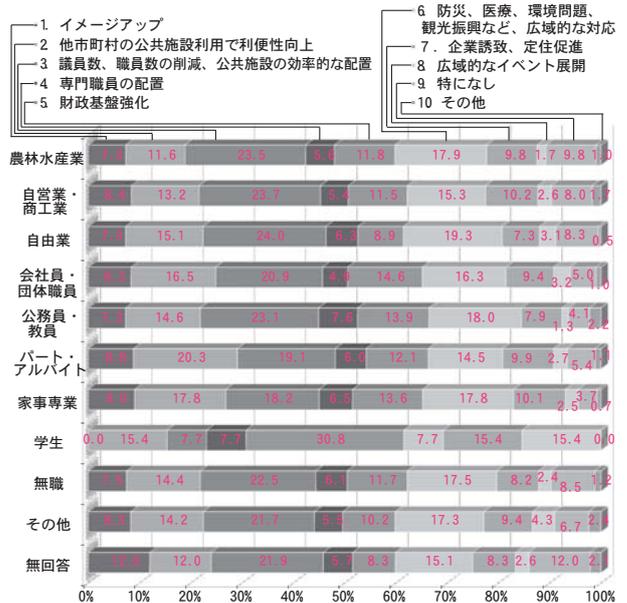
## ◆年代別でみた場合

20～40歳代の比較的若い年代では、「2. 他市町村の公共施設が利用できるなど利便性が向上する」を選択された割合が一番高く、20歳代で21.0%、30歳代で19.5%、40歳代で20.0%となり、50歳代～70歳以上では、「3. 議員数・職員数の削減や効率的な道路配置により行政機能の効率化が図られる」と回答された割合が一番高く、50歳代で22.7%、60歳代で24.6%、70歳以上で21.1%となっています。



## ◆職業別でみた場合

学生が選択した項目で一番回答が多かったのが、「5. 財政規模が大きくなり、財政基盤が強化される」30.8%、パート・アルバイトでは「2. 他市町村の公共施設が利用できるなど利便性が向上する」20.3%、それ以外の職業ではいずれも「3. 議員数・職員数の削減や効率的な道路・施設の配置により行政機能の効率化が図られる」が一番高い結果となりました。



# Q7 合併への期待

## ◆その他の意見

その他の回答欄で多かった意見としては、合併による「財政状況の向上」や「職員・議員定数の削減」、スケールメリットを考慮した「行政サービスの向上」、などでした。以下に具体的なご意見をいくつか掲載します。

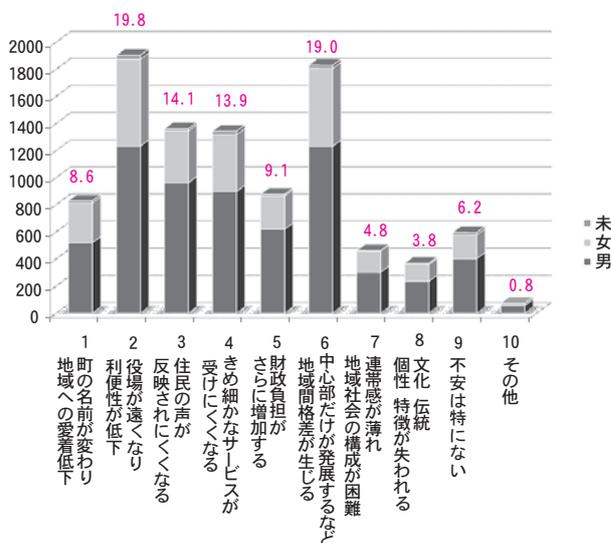
性別	意見
男性	何時までも小さな町では、他の行政から取り残される。板倉町の資産があれば良いが、借金が多く、町民税も高いので、合併すべきだと思う。
男性	群馬県の市町村は合併により半分に減少した現在、東毛地域は取り残されています。早急に合併して県からの行政支援を受けやすい状況にすることを強く望みます。個性的な町の発展はなかなか難しいと思うからです。
男性	板倉町にはなく他の町にはある助成サービスが受けられるようになる。ごみ袋高すぎ、その点明和町、館林市のほうがよい。
男性	大きな行政になり、行政の効率化が図られる事
女性	町の発展のための方策を広く考えられるようになると思います。
男性	公務員の意識向上・人材交流
男性	専門知識を持った職員数で効率的な運営がなされる。
男性	合併しても支所となるであろう板倉役場の職員のスキルアップや考え方を変えないかぎり、何も変わらない。公務員のサービスは最低。
男性	合併により各税金や公共料金の値下げ
女性	合併メリット・デメリットは当たり前、板倉町の将来を考えると良いと思います。まずは小規模の合併から未来は大規模へ
女性	町から市に変わるので「いなか」ではなくなる（イメージ）
男性	病院、保健所の利用が便利になる。
女性	今の板倉町より教育、環境、医療等々、すべて今よりはよくなると思う。他の町より良いところが現在のところない。
男性	合併するかはわかりませんが、例えば、館林市と合併した場合、「全国でも有数の暑い町」のイメージがしっかりとあるので、名前は覚えてもらえると思います。
男性	歴史ある町名が消えるのは淋しいが、全国的に名の通る市としての合併によりイメージアップと住民の意識向上につながる。
女性	土地の有効利用や町民の意見、条例等に関わるお願い事等、県へ向けての声に耳を傾けてもらえそう。
女性	教育、医療が良くなって欲しい。

# Q8 合併への不安

## Q8. 板倉町が合併すると仮定した場合、どのようなことが心配ですか？（3つまで選択）

合併に対する不安では、「2. 役所が遠くなることによる、利便性の低下」19.8%と「6. 区域拡大による地域間格差」19.0%と回答されたかたが、とくに多い結果となりました。また、「9. 不安は特にない」と回答されたかたは6.2%となっています。

区分	男	女	未	合計	構成比
1. 町の名前が変わり、地域への愛着などが低下する	519	293	16	828	8.6
2. 役所が遠くなるなど、利便性が低下	1,233	640	30	1,903	19.8
3. 行政区域の拡大によって住民の声が反映されにくくなる	962	383	15	1,360	14.1
4. 行政区域が広くなり、きめ細かなサービスが受けにくくなる	897	420	25	1,342	13.9
5. 合併相手の借金などを引き受けることで財政負担が増加	618	247	11	876	9.1
6. 中心部だけが発展するなど、区域拡大により地域間格差	1,231	574	23	1,828	19.0
7. 住民の連帯感が薄れ、地域社会の構成が困難になる	301	158	2	461	4.8
8. 地域の文化や伝統、個性や特徴が失われる	234	124	10	368	3.8
9. 不安は特にない	402	176	17	595	6.2
10. その他	56	17	0	73	0.8
合計	6,453	3,032	149	9,634	100.0

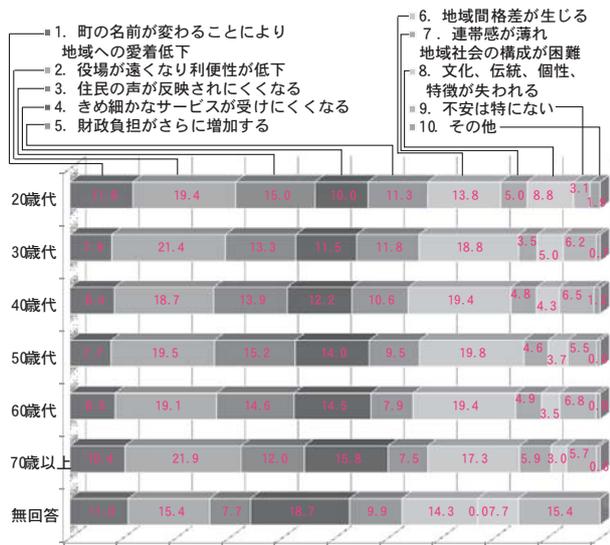




## 合併への不安

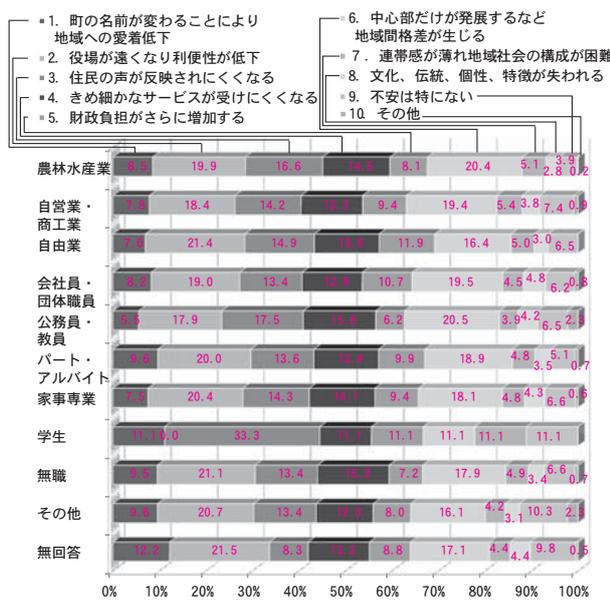
### ◆年代別でみた場合

20歳代、30歳代及び70歳以上では、「2. 役場が遠くなるなど、利便性が低下する」と回答された割合が最も高く。40歳代、50歳代、60歳代では、「6. 中心部だけが発展するなど、区域拡大により地域間格差が生じる」の割合が高い結果となりました。



### ◆職業別でみた場合

農業、商工業、会社員団体職員、公務員、教員では、「6. 中心部だけが発展するなど、区域拡大により地域間格差が生じる」と回答された割合が一番高く、学生のかたは「3. 行政区域の拡大によって住民の声が反映されにくくなる」、それ以外の職業のかたは「2. 役場が遠くなるなど、利便性が低下する」の回答割合が一番高くなりました。



### ◆その他の意見

その他の回答欄で多かった意見としては、「合併によるメリットはまったく考えられない」や「税金、公共料金が値上がりする」との回答を多くいただきました。

以下に、いただいたご意見をいくつか掲載します。

性別	意見
男性	市街地と農村とは、コミュニティ形態が異なる。現状、板倉の隣組・伍長、総代、区長等きめ細かい連帯が継続出来るか心配。(相互互助社会)
女性	町民税、固定資産税、窓口手数料、福祉医療費制度などは1市5町同じなので安心ですが、他の税金や水道料金などは合併する事で逆に負担が大きくなるのではという事が心配です。
男性	今でも住民の声が反映されていないのに合併したらもっと住民の声を聞かなくなる！
女性	今よりなにもかも不便になる。特に老人は今以上に不便になる
未	行政区域の拡大により、住民の声がアンバランスになる。小さい事が後まわしになるし、住民の責任感が無くなる。
男性	〇〇市板倉町となった場合、残念ながら板倉町がそのイニシアチブをにぎる事は不可能になると思います。合併した事で今の行政サービスが全て担保される保証はまったくあるとは思えません。合併特例法の期限が過ぎた事は、かえって良かったと思います。一番恐いのは「ビジョンなき合併」です。
男性	少子化に伴い、学校区分の線引きにより、通学距離の延長並びに防犯の強化が必要となってくる。又、議員、職員の削減により生じる退職金や新たな雇用先等、賄うことが可能なのか。
男性	役所と商工業とのつながりがうすれ、市中心の商工業になってしまいそうです。
男性	板倉町は合併自治体グループの東端に位置しており、行政サービスが最も届きにくい地域となる恐れがある。合併グループの財政運用が中心に偏ってしまう可能性あり。
男性	日本一暑いというマイナスイメージは避けたい。
男性	近々道州制導入の可能性が有り、それからでも良いかも？
男性	のどかな生活が良い。
女性	館林優先で郡内4町が後回しになるのではないかと心配をしていますが、その様なことはないのですか？
男性	合併するだろう館林市自体に期待できない。ただ大きくなるだけで、住所の変更などが面倒。
男性	板倉町農協のメリット(デメリット)の方が農家にとっては大きいと思います。
男性	新たな税負担(都市計画税)がかかってくる。



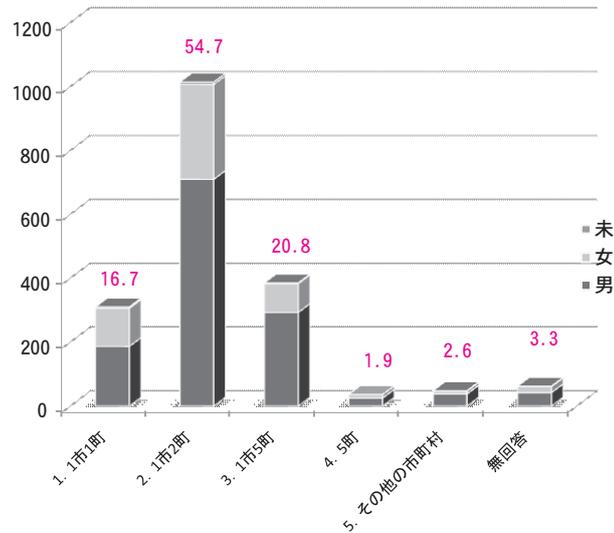
## 合併希望市町村

Q9. あなたは、板倉町がどの市町と合併するのが望ましいと思いますか？（1つ選択）

【問6で賛成・どちらかといえば賛成に○を付けたかたのみ回答】

「2. 1市2町（板倉町・明和町・館林市）」での合併希望が54.7%と大きな割合を占め、続いて「3. 1市5町（邑楽郡・館林）」の20.8%、「1. 1市1町」16.7%と続きます。

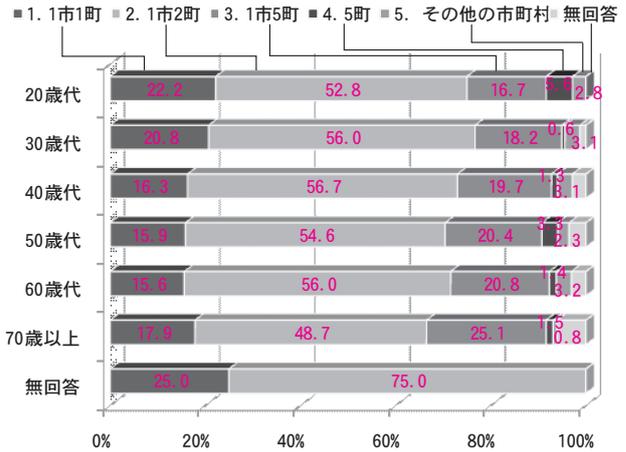
区分	男	女	未	合計	構成比
1. 1市1町 (板倉・館林)	187	119	4	310	16.7
2. 1市2町 (板倉・明和・館林)	710	297	7	1,014	54.7
3. 1市5町 (邑楽郡・館林)	293	90	2	385	20.8
4. 5町 (邑楽郡)	25	11	0	36	1.9
5. その他の市町村	38	9	1	48	2.6
無回答	42	19	1	62	3.3
合計	1,295	545	15	1,855	100



### ◆年代別でみた場合

すべての年代で、1市2町での合併と回答した割合が高い結果となりました。（単位：％）

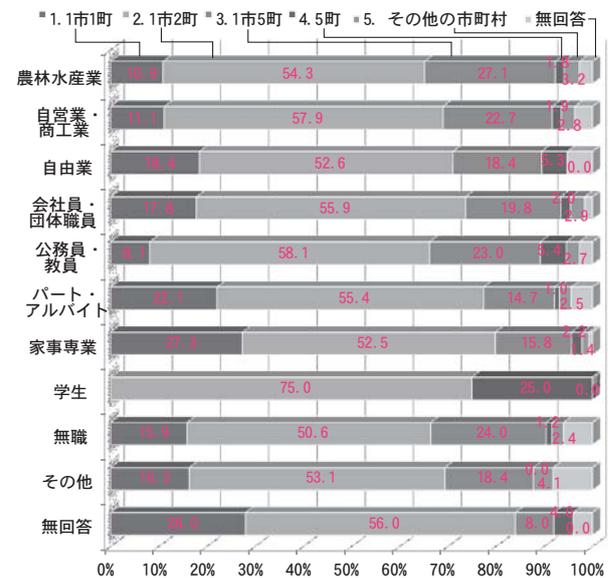
区分	1市1町	1市2町	1市5町	5町	その他	無回答
20歳代	22.2	52.8	16.7	5.6	2.8	0.0
30歳代	20.8	56.0	18.2	0.6	3.1	1.3
40歳代	16.3	56.7	19.7	1.3	3.1	2.8
50歳代	15.9	54.6	20.4	3.3	2.3	3.5
60歳代	15.6	56.0	20.8	1.4	3.2	3.0
70歳以上	17.9	48.7	25.1	1.5	0.8	6.1
無回答	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0



### ◆職業別でみた場合

やはりすべての職業で1市2町が高く、次いで1市5町、「パート・アルバイト」「家事専業」では1市1町の割合も高くなっています。（単位：％）

区分	1市1町	1市2町	1市5町	5町	その他	無回答
農林水産業	10.9	54.3	27.1	1.8	3.2	2.7
自営業・商工業	11.1	57.9	22.7	1.9	2.8	3.7
自由業	18.4	52.6	18.4	5.3	0.0	5.3
会社員・団体職員	17.8	55.9	19.8	2.0	2.9	1.6
公務員・教員	8.1	58.1	23.0	5.4	2.7	2.7
パート、アルバイト	22.1	55.4	14.7	1.0	2.5	4.4
家事専業	27.3	52.5	15.8	2.2	1.4	0.7
学生	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0
無職	15.9	50.6	24.0	1.2	2.4	6.0
その他	16.3	53.1	18.4	0.0	4.1	8.2
無回答	28.0	56.0	8.0	4.0	0.0	4.0



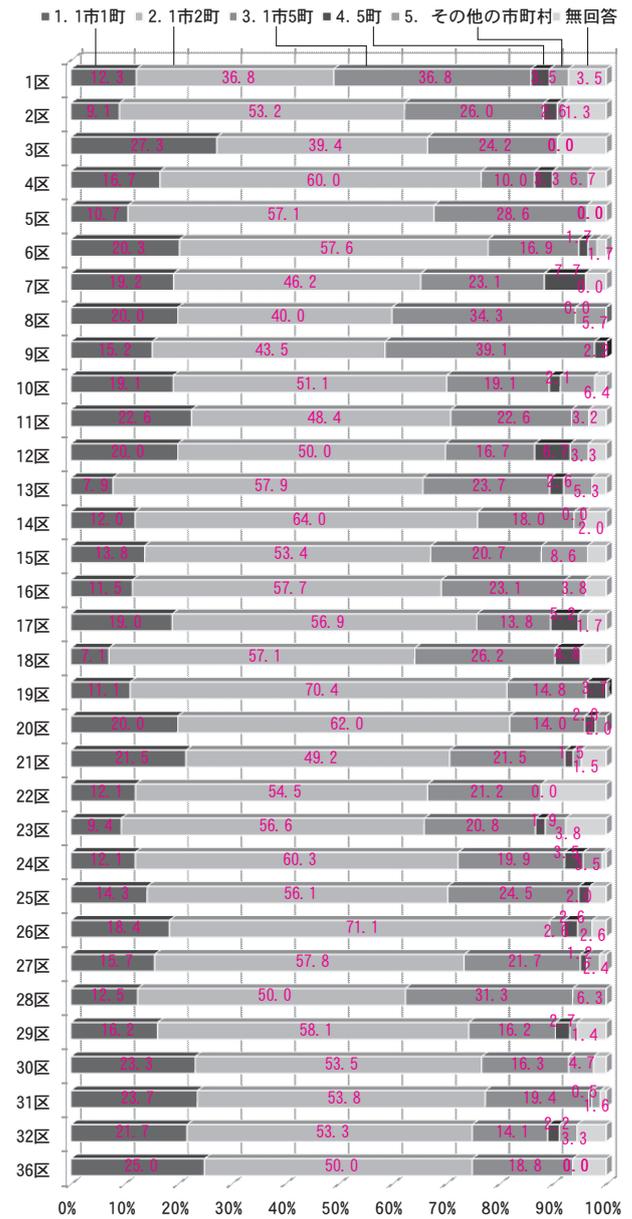


## 合併希望市町村

### ◆行政区別でみた場合

1区を除くすべての行政区で一番高かったのが、「1市2町」（第1区は1市2町と1市5町の割合が同じ）。また、「1市1町」の割合が2番目に高かった行政区が、3・4・6・12・17・20・26区とニュータウンの全地区、それ以外の行政区では「1市5町」が2番目に高い結果となりました。（単位：％）

区分	1市1町	1市2町	1市5町	5町	その他	無回答
1区	12.3	36.8	36.8	3.5	3.5	7.0
2区	9.1	53.2	26.0	2.6	1.3	7.8
3区	27.3	39.4	24.2	0.0	0.0	9.1
4区	16.7	60.0	10.0	3.3	6.7	3.3
5区	10.7	57.1	28.6	0.0	0.0	3.6
6区	20.3	57.6	16.9	1.7	1.7	1.7
7区	19.2	46.2	23.1	7.7	0.0	3.8
8区	20.0	40.0	34.3	0.0	5.7	0.0
9区	15.2	43.5	39.1	2.2	0.0	0.0
10区	19.1	51.1	19.1	2.1	6.4	2.1
11区	22.6	48.4	22.6	0.0	3.2	3.2
12区	20.0	50.0	16.7	6.7	3.3	3.3
13区	7.9	57.9	23.7	2.6	5.3	2.6
14区	12.0	64.0	18.0	0.0	2.0	4.0
15区	13.8	53.4	20.7	0.0	8.6	3.4
16区	11.5	57.7	23.1	0.0	3.8	3.8
17区	19.0	56.9	13.8	5.2	1.7	3.4
18区	7.1	57.1	26.2	4.8	0.0	4.8
19区	11.1	70.4	14.8	3.7	0.0	0.0
20区	20.0	62.0	14.0	2.0	2.0	0.0
21区	21.5	49.2	21.5	1.5	1.5	4.6
22区	12.1	54.5	21.2	0.0	0.0	12.1
23区	9.4	56.6	20.8	1.9	3.8	7.5
24区	12.1	60.3	19.9	3.5	3.5	0.7
25区	14.3	56.1	24.5	2.0	0.0	3.1
26区	18.4	71.1	2.6	2.6	2.6	2.6
27区	15.7	57.8	21.7	1.2	2.4	1.2
28区	12.5	50.0	31.3	0.0	6.3	0.0
29区	16.2	58.1	16.2	2.7	1.4	5.4
30区	23.3	53.5	16.3	0.0	4.7	2.3
31区	23.7	53.8	19.4	0.5	1.6	1.1
32区	21.7	53.3	14.1	2.2	3.3	5.4
36区	25.0	50.0	18.8	0.0	0.0	6.3



◆その他の意見 多く出されたものは、「1市4町（大泉町を除く）」での合併や「館林市邑楽郡に太田市を加えた合併」などでした。その他以下のような意見が出されました。

性別	意見
男性	県境を越えた合併「栃木市、小山市、加須市、古河市、館林市、明和町」
男性	合併できる市町村から順次拡大していく
男性	JA（農業協同組合）の合併と同じ市町村単位
女性	板倉町+明和町
男性	両毛地区、栃木、群馬市町合併
男性	加須市か栃木市



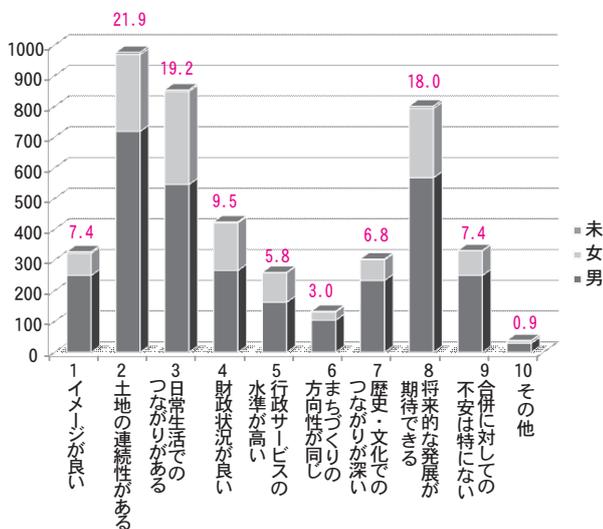
## Q10 合併相手で重視した点

Q10. 問9の合併相手を考える際に重視した点について、あなたの考えに近いものを次の中から選んでください。(3つまで選択可)

【問6で賛成・どちらかといえば賛成に○を付けたかたのみ回答】

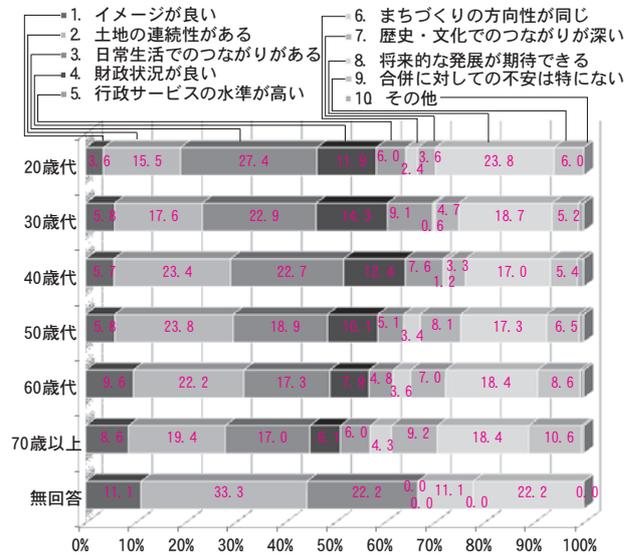
合併相手の選択の際、重視したこととしては、「2. 土地の連続性がある」と回答されたかた21.9%、「3. 日常生活でのつながりがある」が19.2%、「8. 将来の発展性」が18.0%、特にこの3項目の回答率が高い結果となりました。

区分	男	女	未	合計	構成比
1. イメージが良い	250	72	5	327	7.4
2. 立地位置や河川など、土地の連続性がある	719	250	7	976	21.9
3. 通勤、通学、買い物など、日常生活でつながりがある	546	303	5	854	19.2
4. 財政状況が良い	266	155	3	424	9.5
5. 行政サービスの水準が高い	163	96	1	260	5.8
6. まちづくりの方向性が同じ	104	27	2	133	3.0
7. 歴史や文化でのつながりが深い	234	67	2	303	6.8
8. 将来的な発展が期待できる	568	226	7	801	18.0
9. 合併に対する不安は特にはない	250	80	1	331	7.4
10. その他	29	8	1	38	0.9
合計	3,129	1,284	34	4,447	100



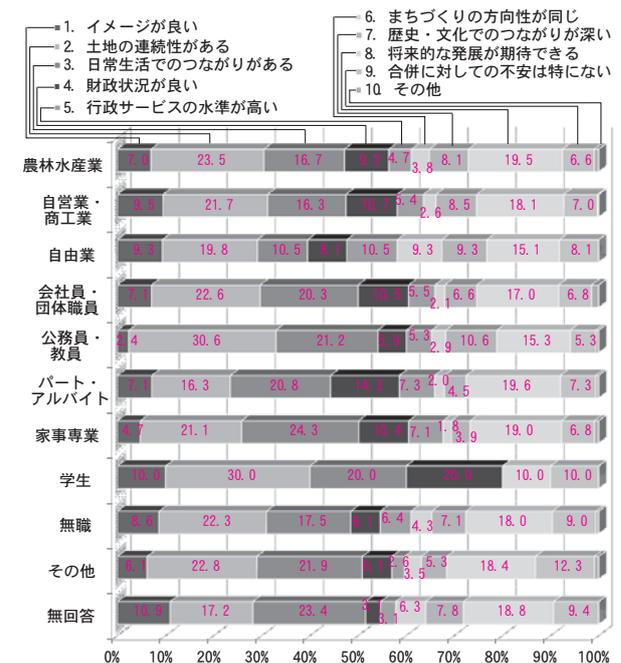
### ◆年代別でみた場合

20歳代、30歳代では、「3. 通勤・通学・買い物で行くなど、日常生活でのつながりがあるから」と回答した割合が一番高く、40歳代以上では、「2. 立地位置や河川など土地の連続性があるから」と回答した割合が一番高い結果となりました。上記回答に次いで多かったのが「8. 将来的な発展が期待できるから」となりました。



### ◆職業別でみた場合

家事専業、パート・アルバイトの職業のかたは、「3. 通勤・通学・買い物で行くなど、日常生活でのつながりがあるから」と回答された割合が一番高い結果でありましたが、それ以外の職業のかたにおいては、いずれも「2. 立地位置や河川など土地の連続性があるから」が最も重視した点として高い割合を示しています。



# Q10 合併相手で重視した点

## ◆その他の意見

性別	意見
男性	防災（水害）上部～下部（下流）土地利用の関連性、限定指定、土地利用の固定化
男性	邑楽・館林地区は立地条件が良い。今後、発展性が有るのは、古河市等が良いのでは。もう少し遊水地を利用するような町づくりを。
男性	災害時の協定連携等
男性	合併は市町数が多い方がメリットがあると思う（財政が良くなると思う）。
男性	J Aが6市町を地区として合併しているから。
男性	理想的にはより広域の方がよいが、合併に消極的な町を相手にしてはいつまでも進まない。「首長と議員が自分の首をかける決断をしなければならぬからなかなか合併すると言わないのだ」と公民館での町懇談会で町長説明があった。板倉町と館林市は首長選挙において市町村合併を大きな公約の一つとして、賛意を得て当選し、合併を推進する意志があるが、他の町ははっきりしない。前橋市や太田市などは近隣の町と合併する時期はまちまちながら次々に合併している。まず、合併可能なところから合併することが重要である。
男性	本来であれば太田市並の水準を望みたいが、第一段階として館林市、明和町並の生活を最低限望みたいため、特に都市計画、行政サービス。
男性	問9の2に○を付けたが、千代田町と邑楽町を加えても良いと思う＝大泉町は館林市と言うより三洋電機の町という感じがするし、生活の上でも太田市寄りというイメージがある。
男性	平成の大合併に間に合わせるべきだったと思う。今となっては遅きに失った訳であるから、行政、医療等のつながりの深い館林市と早急に合併に向けての話を進めて欲しい。（他の町が入る事により長引く事が考えられる）
男性	広げれば良いというものではないと思います。日常の行動はいいとして、邑楽より先に行くことはあまりないので。
男性	板倉－藤岡－栃木を路線で結んでいる為、栃木県の県庁が近くなる。（宇都宮1時間）
男性	合併する場合核となる市町があると思う。今回の合併を考えると館林市が「核となると思われる。役場の位置、各施設とも合併後エリアの中心となり公平なサービスを受けられると思われるから。合併後の人口、規模（面積など）も1市2町（館林・板倉・明和）が適当と考えられるから。
女性	館林市が一番良いと考えていますが、可能であるなら他県の市との合併も良いと考えます。町同士の合併は発展に広がりを感じません。（面積ばかり広がる）吸収合併となろうとも生活が向上し、歴史や文化などの観光地を活かし存在感ある町に成ることが大切と考えています。なので、合併相手には有名な観光地、歴史建造物などがあると良いと考えています。

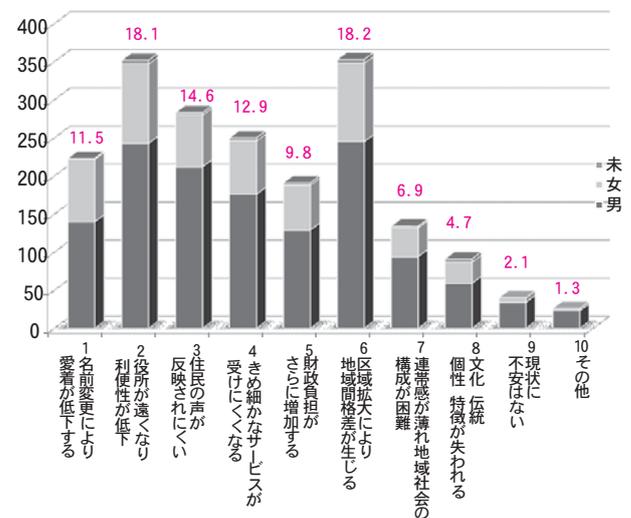
# Q11 合併反対理由

Q11. あなたの考えに近いものを次の中から選んでください。（3つまで選択可）

【問6で反対・どちらかといえば反対に○を付けたかたのみ回答】

反対理由としては、やはり、「2. 利便性の低下」と「6. 地域間格差」が高い回答率となりました。続いて、「3. 住民の声が反映されにくくなる」や「4. きめ細かなサービスが受けにくくなる」の回答が多くなっています。

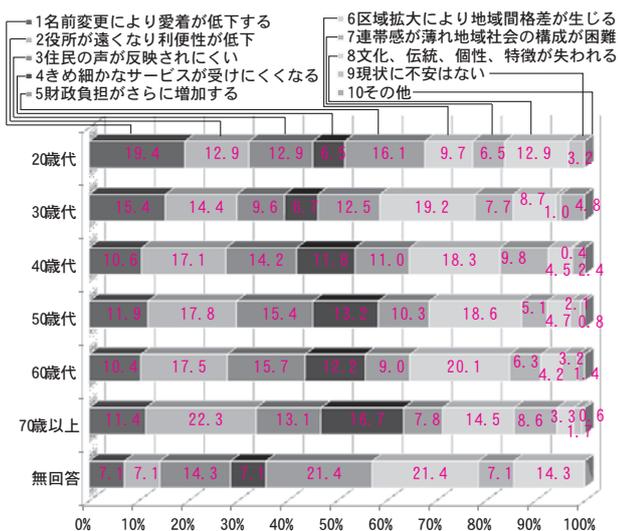
区分	男	女	未	合計	構成比
1. 町の名前が変わってしまい愛着などが低下	140	82	1	223	11.5
2. 役所が遠くなるなど利便性が低下	243	104	5	352	18.1
3. 行政区域拡大で住民の声が反映されにくくなる	212	68	3	283	14.6
4. 行政区域拡大で、きめ細かなサービスが受けにくくなる	176	70	4	250	12.9
5. 合併相手の借金などを引き受けることで、財政負担が更に増加	129	59	3	191	9.8
6. 中心部だけが発展するなど、区域拡大により地域間格差が生じる	245	103	5	353	18.2
7. 住民の連帯感が薄れ、地域社会の構成が困難	94	38	2	134	6.9
8. 文化、伝統、個性特徴が失われる	59	28	4	91	4.7
9. 町の現状に不安はない	34	6	0	40	2.1
10. その他	23	3	0	26	1.3
合計	1,355	561	27	1,943	100



# Q11 合併反対理由

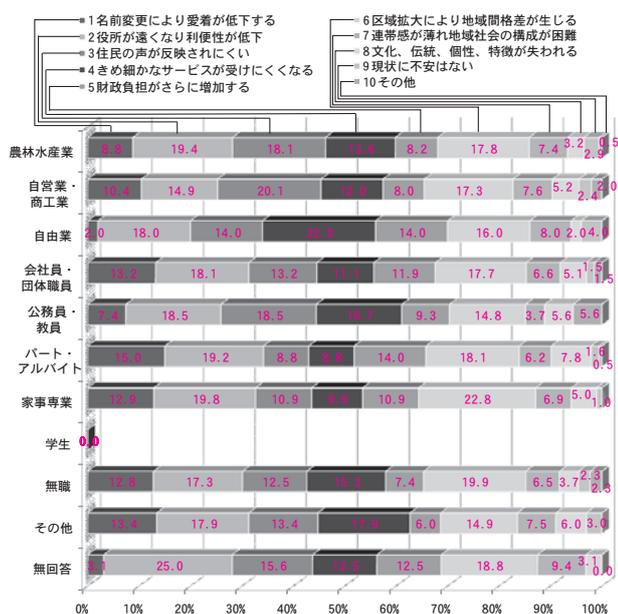
## ◆年代別でみた場合

20歳代では、「1. 町の名前が変わってしまい、地域への愛着などが低下する」、30歳～60歳代では、「6. 中心部だけが発展するなど、区域拡大により地域間格差が生じる」の回答割合が一番高く、70歳以上では、「2. 役所が遠くなるなど、利便性が低下する」が一番高い結果となりました。



## ◆職業別でみた場合

自営業・商工業では「2. 行政区域の拡大による利便性の低下」が高く、自由業では、「4. きめ細かなサービスが受けにくくなる」、家事専業・無職では、「6. 中心部だけが発展、地域間格差が生じる」が高い結果となり、それ以外の職業では「2. 役所が遠くなり、利便性が低下する」が高い結果となりました。



## ◆合併反対理由\_その他の意見

その他の欄でも様々なご意見をいただきました。下にいくつか掲載します。

性別	意見
男性	参考資料中のデメリットが多く、小さい町は合併しない方がいいと思う。なお、デメリット項目がクリアできるという条件があれば、検討の余地がある。
男性	とにかく反対！ 町が強くならないのに合併したらもっと弱体化する！
女性	高齢化が進む中で声が届きにくい。
男性	小さなきめ細かい行政で充分です。財源は、町にはまだまだ行動や活用したいで増加可能だと思います。
男性	合併した小さな町の声を知ると、合併しない方がよかったと聞きます。合併しないで独自の方法にて、行政の効率化を図ったほうが良いと考える。
男性	合併により議員数が削減され、地元で議員がいないときに、要望や意見がスムーズに実行していただけるか不安がある。
男性	協力してやった方がいいことあれば部分的にやれば良い。
女性	職員数を減らし人件費を削減できる効果はとても大きいと思うが、税金や保健サービスは各市町村で異なるため、住民負担が増えるのは好ましくない。
男性	合併ありきではなく、板倉町自体で行政が運営していく努力をもっと町民一体となり、考えていくべき。
男性	すべての物事において小さい状態でできない事が大きくなっていくわけがない！ 大きくなって利便性が増したり、サービスが向上するわけがない。職員が減らされてサービスが向上するなんて絶対ない。合併して良くなるなんて、相手依存の考えにすぎない。

# Q12 合併についての意見

板倉町の合併全般についての意見をいくつか掲載します。

性別	意見
男性	財政の健全化を始め総合病院等の医療の拡充が、広域では、内容の充実した高度な行政サービスが望めないと思う。
男性	①合併に際しては住民全員の賛否の投票をすべきで議会等での単独での決断はすべきではない。 ②合併をすることで更なる財政難にならないように十分に検討することを望む。(将来の展望がひらけている場合にはこの限りではないが)
男性	最近ではJAが合併しましたが、役員の公平性に欠けどこが良くなっているのか、何のために合併したのかよく分からない。あまり、急ぐことはないのでは

## Q12 合併についての意見

性別	意見
男性	県内の（または県外の）板倉町と同じような人口、産業の町が合併により、どのように変化しているのか住民の声を知りたい。
男性	もし合併することになった場合、吸収合併ではなく、対等合併を願いたい。
女性	合併をした場合のシミュレーションは独自に考えていて欲しい。数値を並べて参考資料にするのも良いことだが、よくよく想定外のことでしたと言ったことがないようにしてもらいたい。
男性	合併した場合板倉地区は中心から一番はずれるため、できれば避けたい、施設など集中的に引き受けさせられないよう注意してほしい。
男性	一般の町民にはわからない点が多い。町議会議員や有識者の声が聴きたい。合併するかしないかについては、どのようなすじみちを経て決定するのでしょうか。
男性	住所で板倉町と海老瀬を残してほしい。例 館林市板倉海老瀬とか。
男性	先に農協が合併し、農協の場合、板倉町から常勤役員が一人もいない。非常勤役員も組合数が少ないため、館林、西邑楽より少ない。このため、意見や要望が通らないように聞いています。農協合併のようにならないよう、注意してもらいたい。
男性	他の市町の板倉町に対する意見等はどうなのか。広報等でお願したい。
男性	近隣の市町と十分すぎるほどの話し合いを重ねてもらいたい。
男性	財政基盤が小さい町が大きい町と合併すれば、必ず縮小され、財政的には今より厳しくなると思う。今まで役場で対応できる項目も、項目によっては、本庁に行かなければ解決しないことも必ず生じる。
男性	入院できる大きな病院が板倉町には無い、又、単独で病院を作ることも財政上の問題で不可であり、館林市と合併し、解決したい。
女性	板倉町は県央から遠く、群馬県での恩恵というものが感じられない。県境にある当町は、周辺いかなる市町村と合併しようとの立地条件は考えなければならない。合併によってまた行政の末端になってさらに立地の不利益を受けることは避けたい。
男性	合併したからと言って、館林市に人等が流れる様では合併する意味がない。例えば、板倉ニュータウン内に商店の誘致をするなど、板倉町としても財政が良くなる。環境サービス等も館林市の水準においつき、ゴミ袋等の指定をなくすなど、館林について行くのではなく、同等でなくてはならない。
男性	豊かな自然の中の古里は、そっと残してほしい。合併して何を望むのですか？町民同士が、町に対して何ができるかを考えて行動すれば、もっと、もっと、町は活性化すると思います。

## Q13 板倉町の現状について

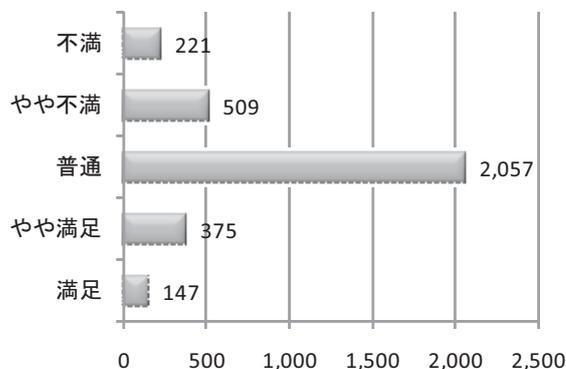
Q13. 板倉町での暮らしについて、各分野の現在の「満足度」と、今後の「重要度」をおたずねします。「①満足度」と「②重要度」の各選択肢（A～E）の中から、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください。

各項目における満足度で「満足」「やや満足」と回答された割合が一番高かったものが「安全な水の安定供給」で全体割合の27.6%、次に「ごみの収集・リサイクル」23.6%、「消防・救急体制の充実」23.5%であり、「不満」「やや不満」と回答された割合が高かったものは「買物ができる商業空間の整備」94.4%、「消費生活に関する情報提供や相談体制」94.0%、「商業やサービス業の育成支援」93.1%でした。

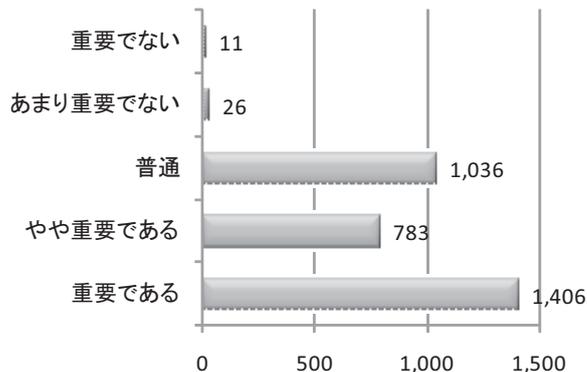
重要度において、「重要」の割合が高かったのが「病院・診療所などの医療環境」61.4%、「やや重要」では「高齢者などが移動しやすい環境整備（バリアフリー）」33.8%、「重要でない」「あまり重要でない」との回答割合が高かったのが「国際交流・都市間交流」となりました。

以下に各分野の集計結果を満足度、重要度の順にグラフで示します。グラフ上の数値は回答件数（＝回答人数）です。

### 1. 子育て環境や支援（満足度）

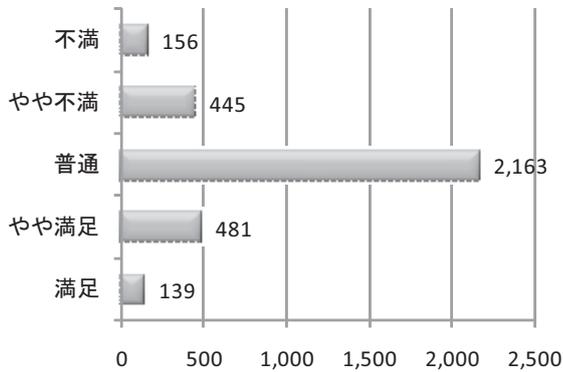


### 1. 子育て環境や支援（重要度）

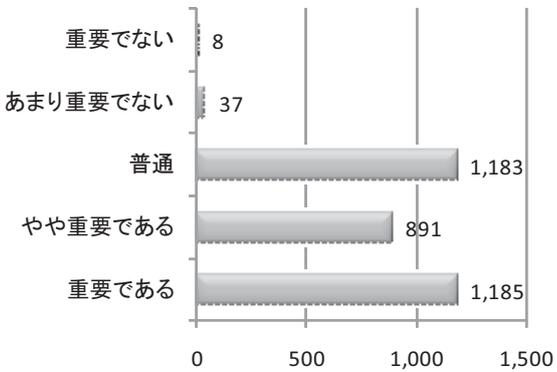


# Q13 板倉町の現状について

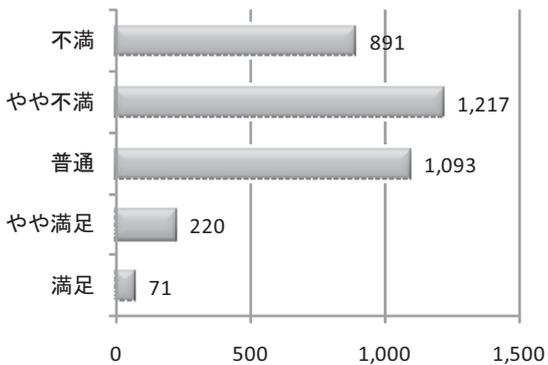
## 2. 健康づくりや病気の予防（満足度）



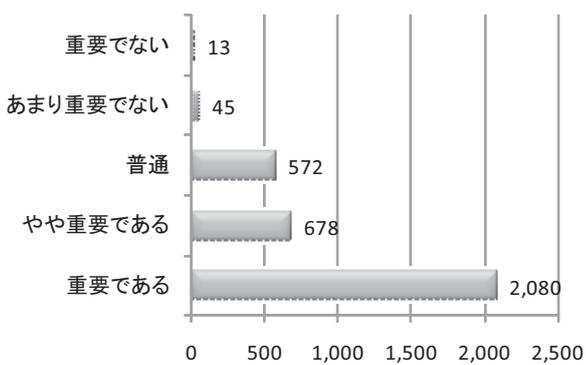
## 2. 健康づくりや病気の予防（重要度）



## 3. 病院・診療所などの医療環境（満足度）

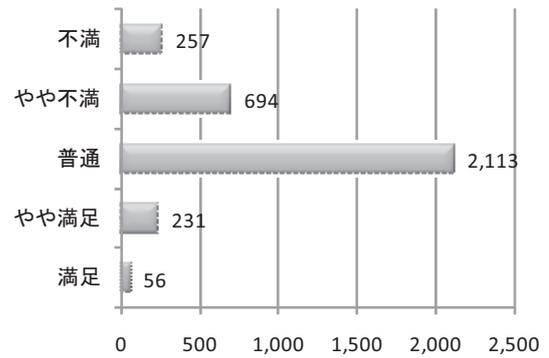


## 3. 病院・診療所などの医療環境（重要度）

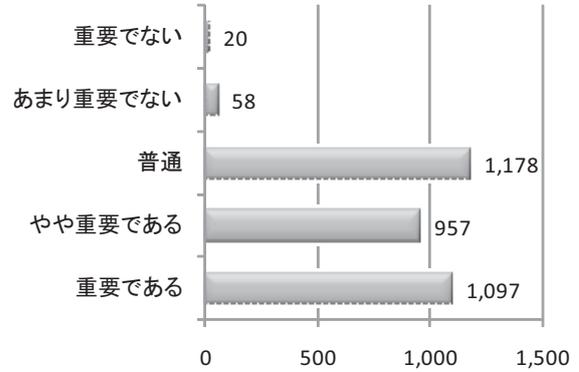


# Q13 板倉町の現状について

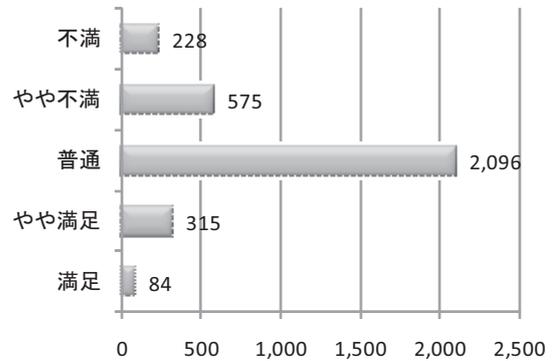
## 4. 高齢者の自立支援（満足度）



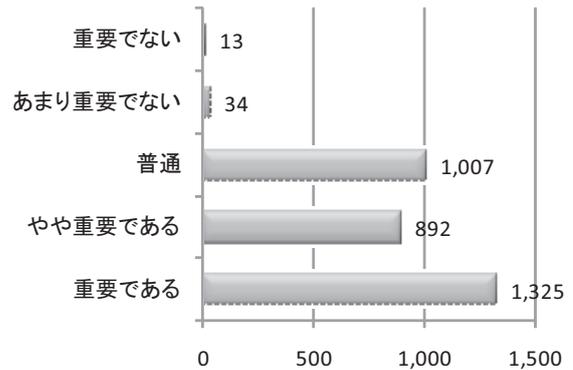
## 4. 高齢者の自立支援（重要度）



## 5. 介護サービス（満足度）

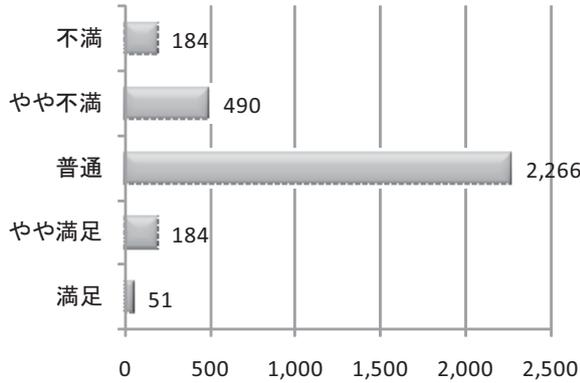


## 5. 介護サービス（重要度）

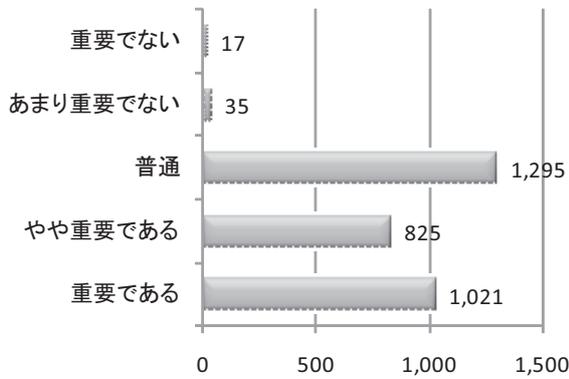


# Q13 板倉町の現状について

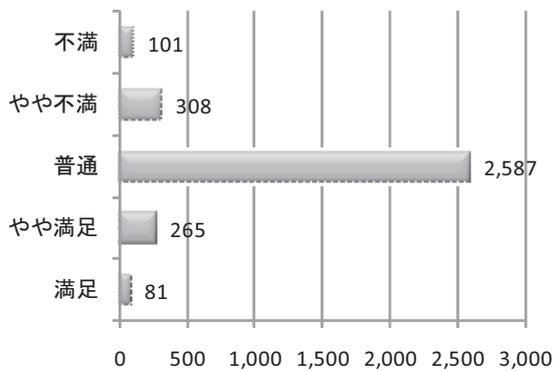
## 6. 障害者（児）の生活支援（満足度）



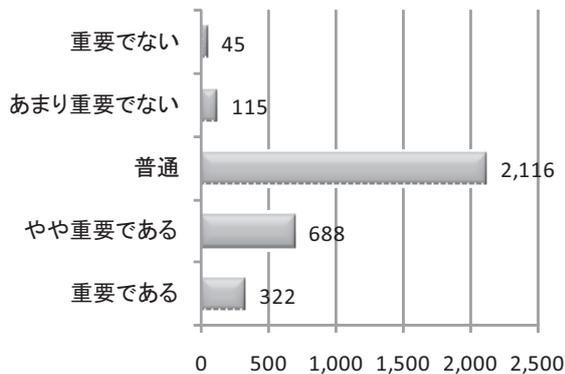
## 6. 障害者（児）の生活支援（重要度）



## 7. 男女が等しく社会参加できる環境づくり（満足度）

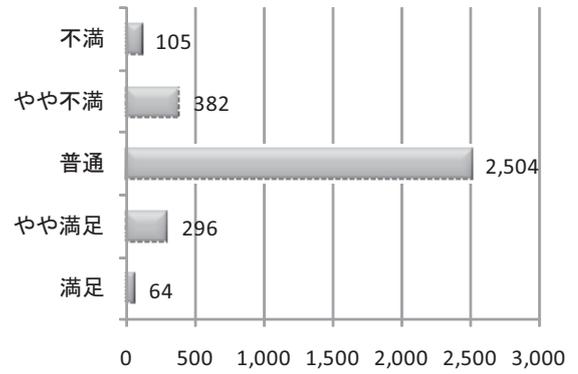


## 7. 男女が等しく社会参加できる環境づくり（重要度）

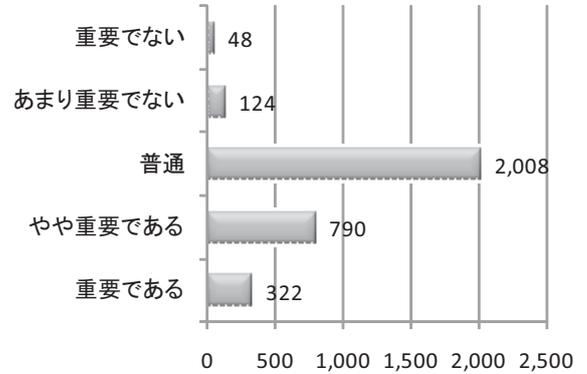


# Q13 板倉町の現状について

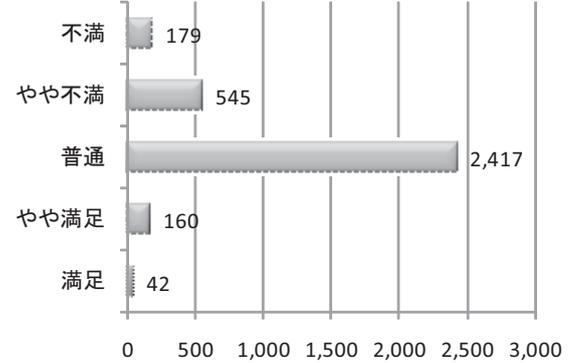
## 8. 町民ボランティア活動の育成・支援（満足度）



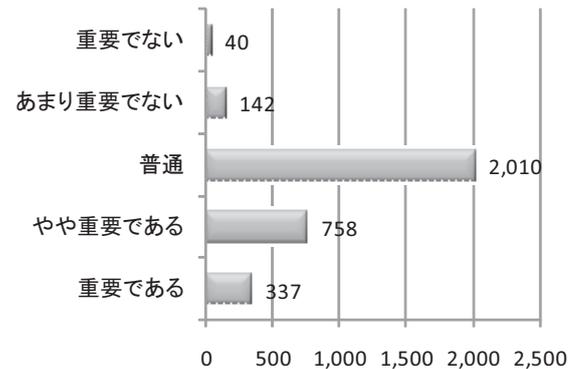
## 8. 町民ボランティア活動の育成・支援（重要度）



## 9. 消費生活に関する情報提供や相談体制（満足度）

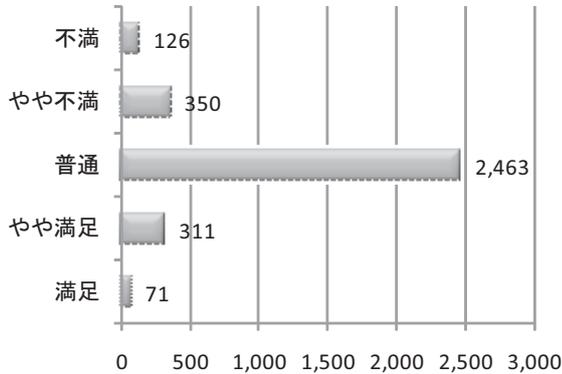


## 9. 消費生活に関する情報提供や相談体制（重要度）

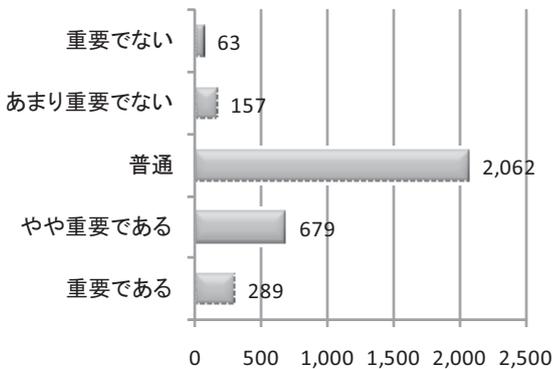


# Q13 板倉町の現状について

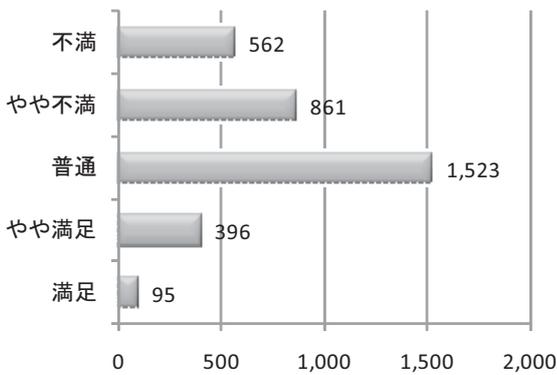
10. 町内会活動などのコミュニティ活動（満足度）



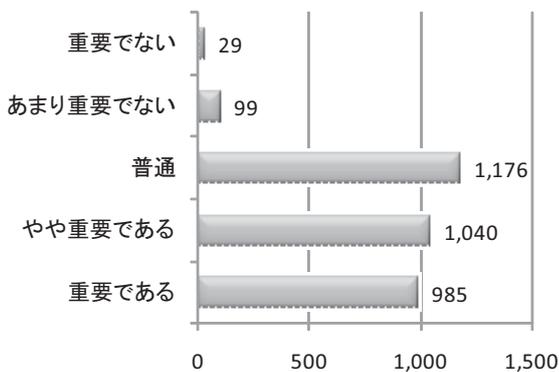
10. 町内会活動などのコミュニティ活動（重要度）



11. 町道などの道路網の整備（満足度）

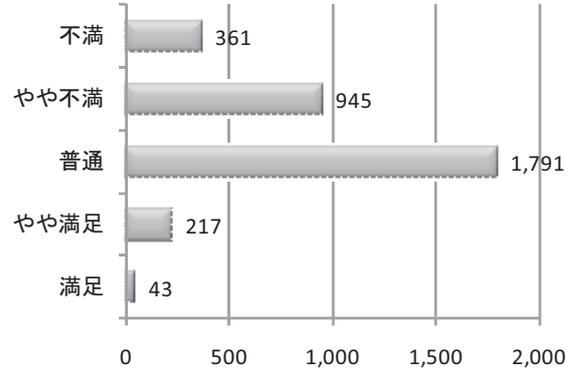


11. 町道などの道路網の整備（重要度）

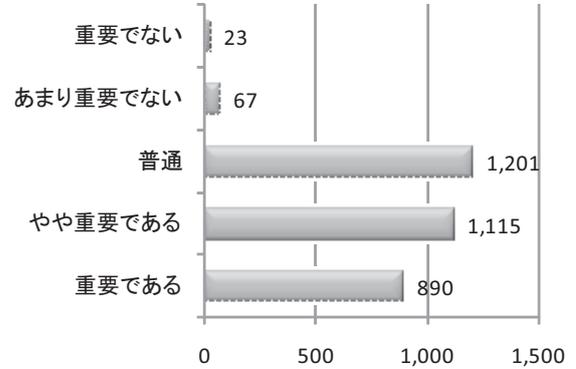


# Q13 板倉町の現状について

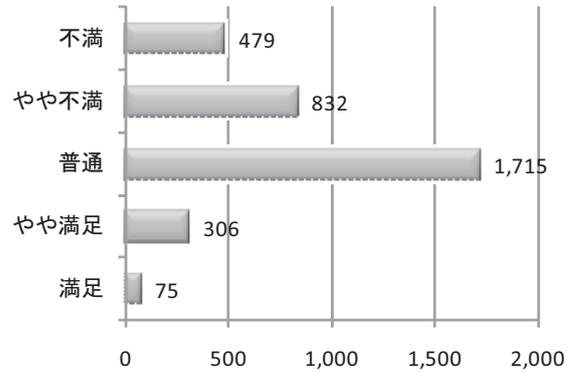
12. 高齢者などが移動しやすい環境整備（満足度）



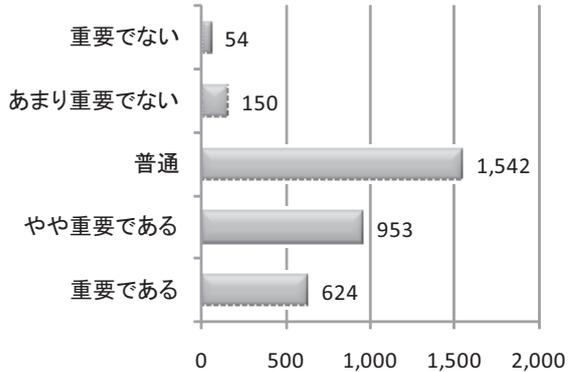
12. 高齢者などが移動しやすい環境整備（重要度）



13. 公園、緑地の充実・維持管理（満足度）

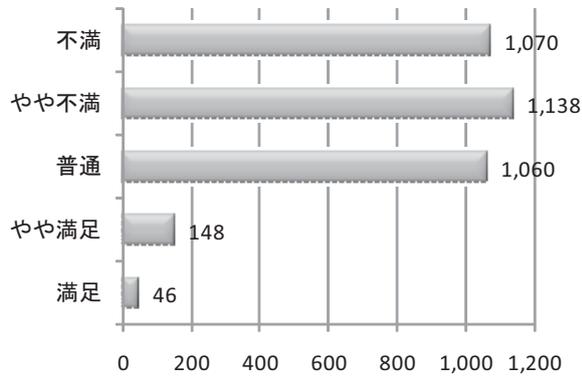


13. 公園、緑地の充実・維持管理（重要度）

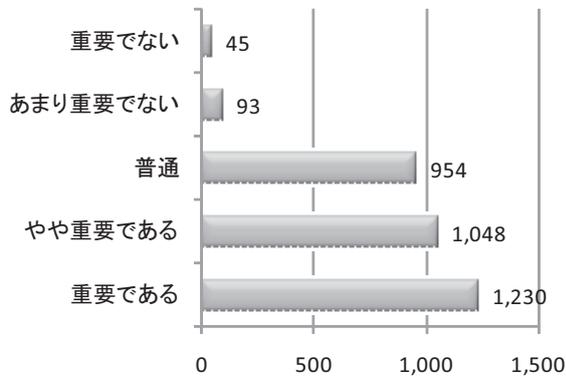


# Q13 板倉町の現状について

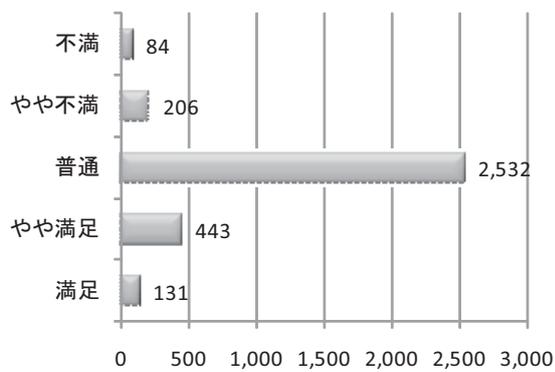
14. 買物ができる商業空間の整備（満足度）



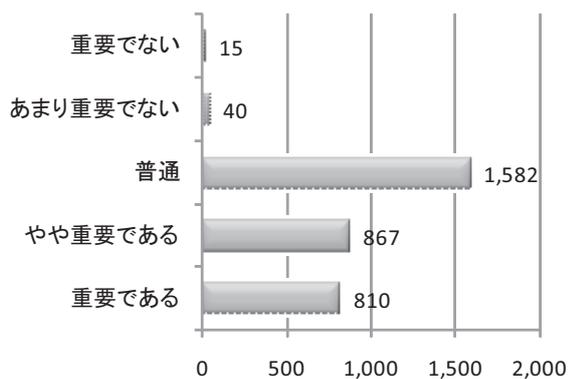
14. 買物ができる商業空間の整備（重要度）



15. 交通安全への取り組み（満足度）

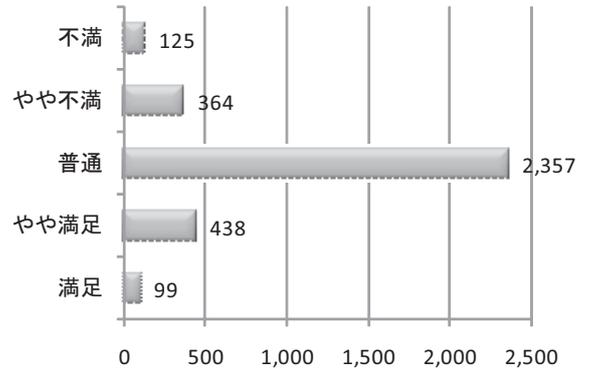


15. 交通安全への取り組み（重要度）

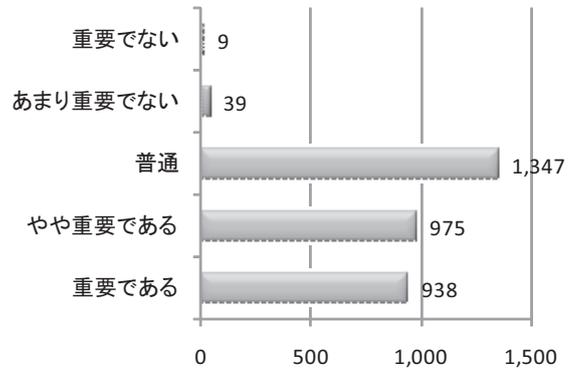


# Q13 板倉町の現状について

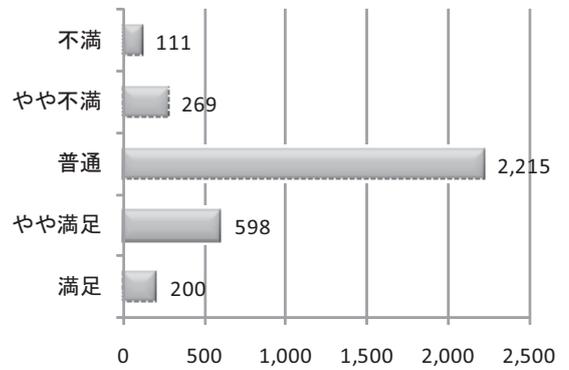
16. 地域での防犯対策（満足度）



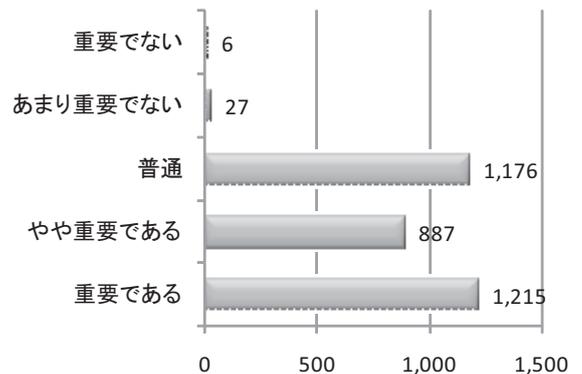
16. 地域での防犯対策（重要度）



17. 消防・救急体制の充実（満足度）

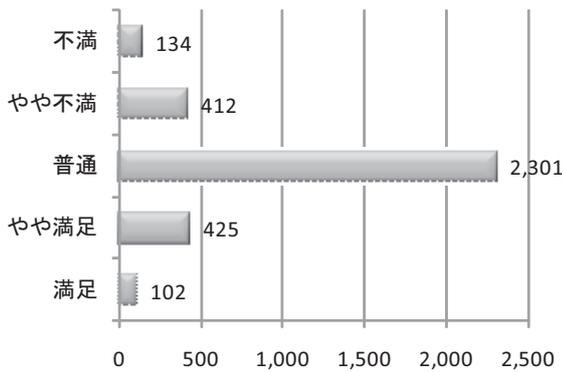


17. 消防・救急体制の充実（重要度）

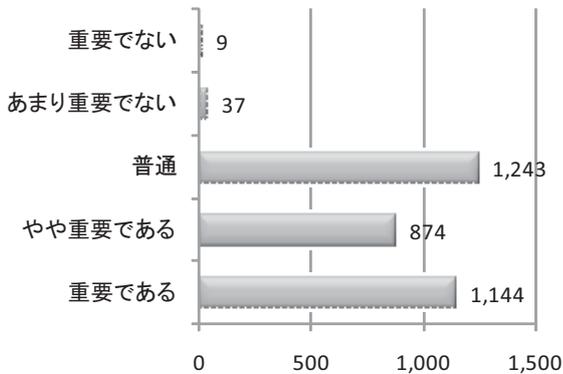


# Q13 板倉町の現状について

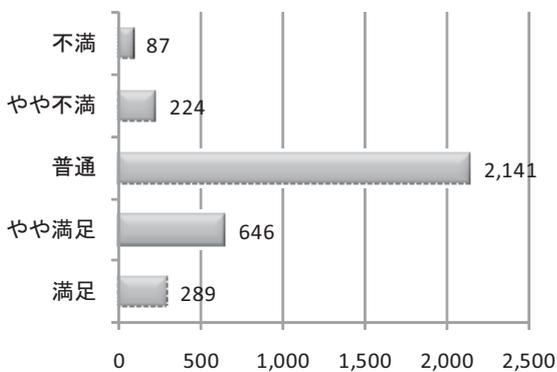
18. 自然災害などに対する防災体制（満足度）



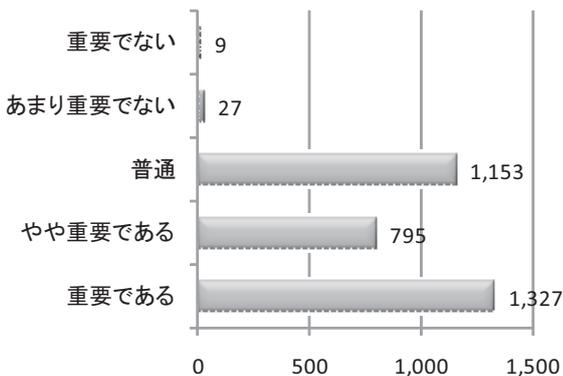
18. 自然災害などに対する防災体制（重要度）



19. 安全な水の安定供給（満足度）

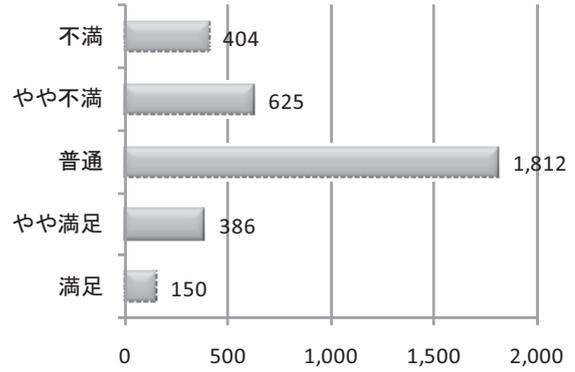


19. 安全な水の安定供給（重要度）

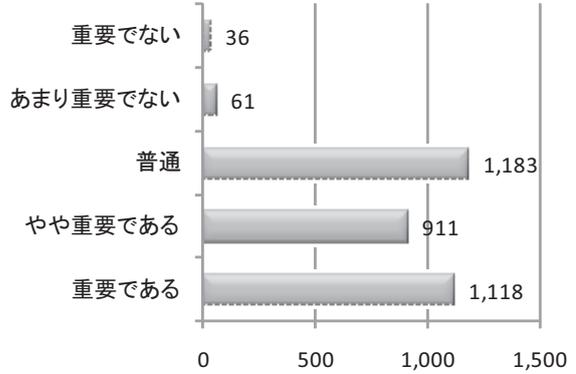


# Q13 板倉町の現状について

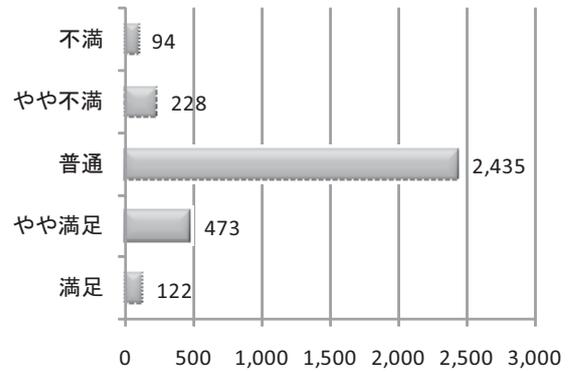
20. 汚水処理（下水道など）の整備（満足度）



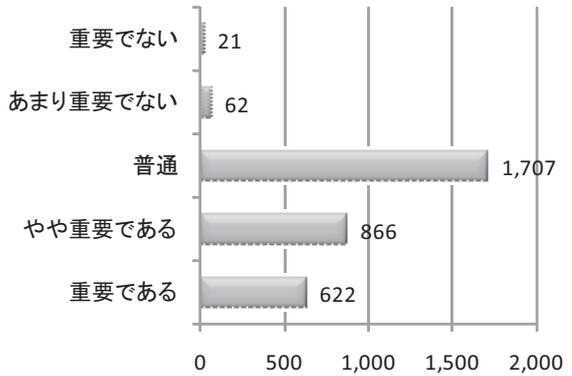
20. 汚水処理（下水道など）の整備（重要度）



21. 自然環境の保全（満足度）

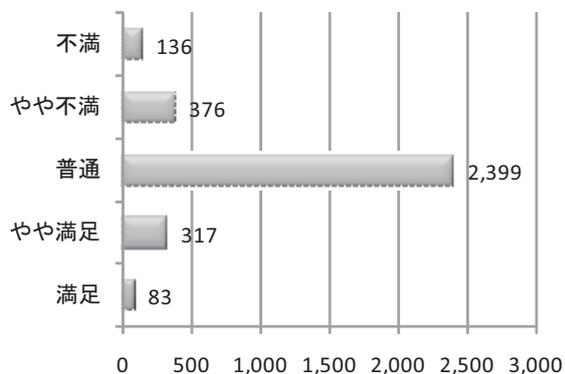


21. 自然環境の保全（重要度）

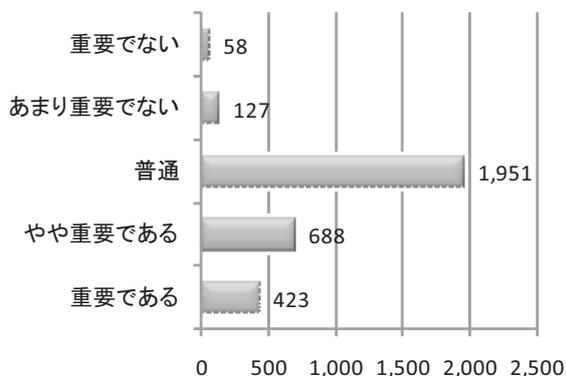


# Q13 板倉町の現状について

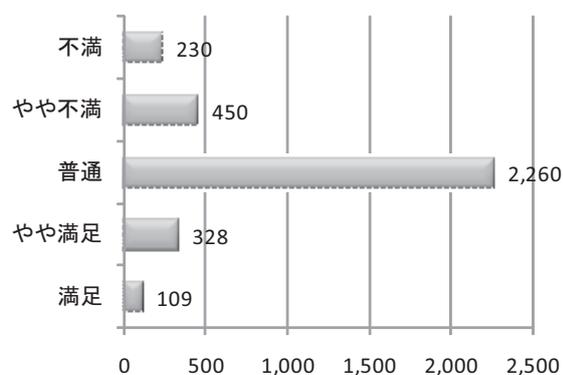
## 22. 都市景観の形成（満足度）



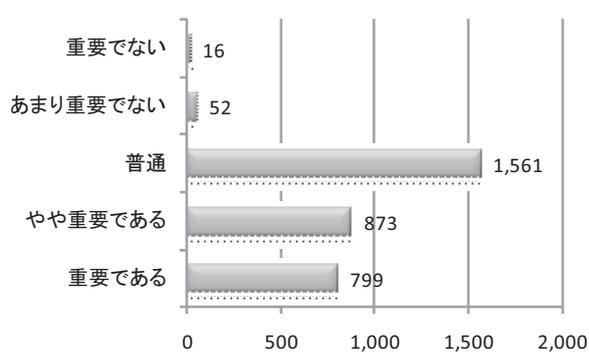
## 22. 都市景観の形成（重要度）



## 23. 騒音・振動・悪臭などの公害防止（満足度）

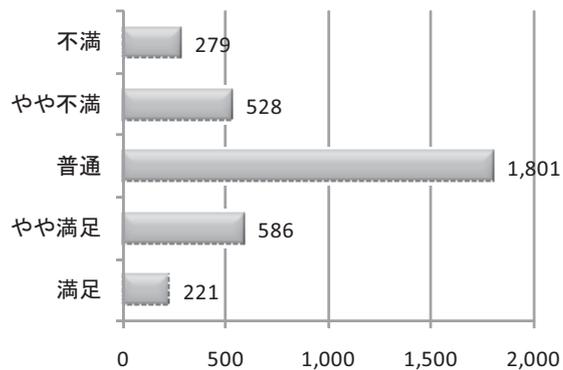


## 23. 騒音・振動・悪臭などの公害防止（重要度）

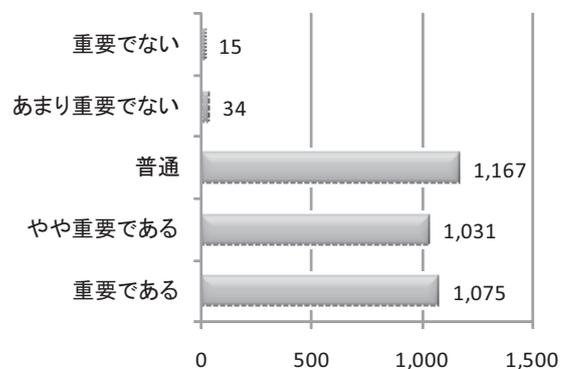


# Q13 板倉町の現状について

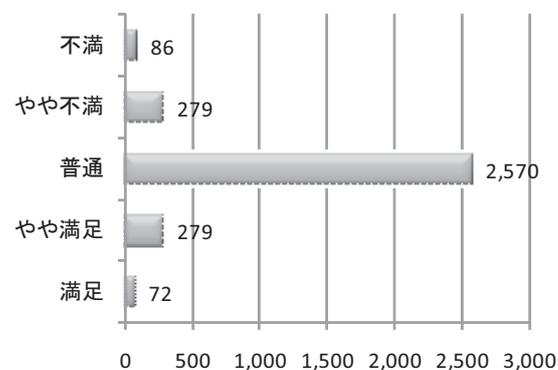
## 24. ごみの収集・リサイクル（満足度）



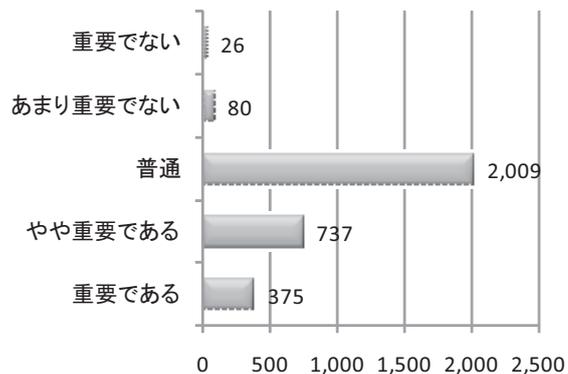
## 24. ごみの収集・リサイクル（重要度）



## 25. 生涯学習の情報や機会の提供（満足度）

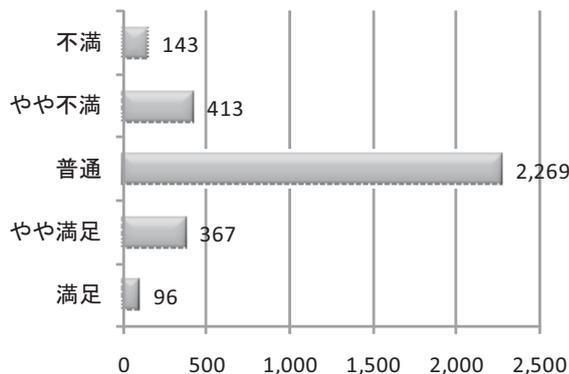


## 25. 生涯学習の情報や機会の提供（重要度）

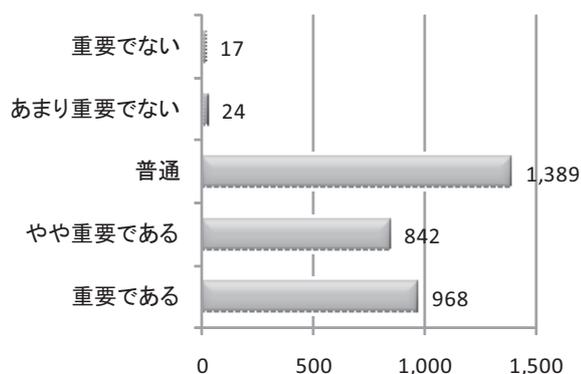


# Q13 板倉町の現状について

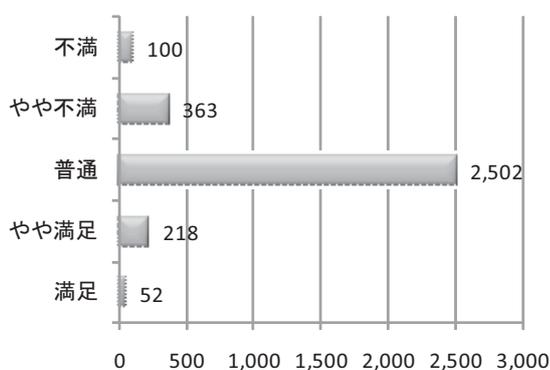
26. 小・中学校の教育環境（満足度）



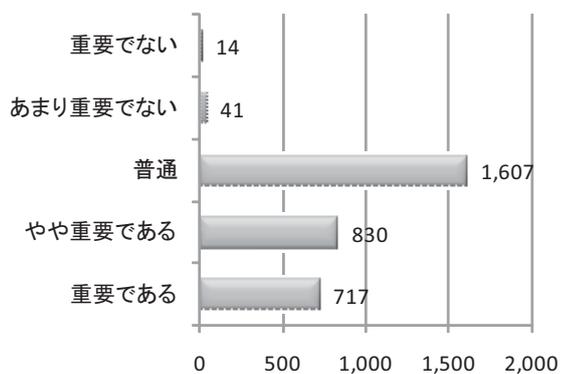
26. 小・中学校の教育環境（重要度）



27. 障害のある児童などの教育環境（満足度）

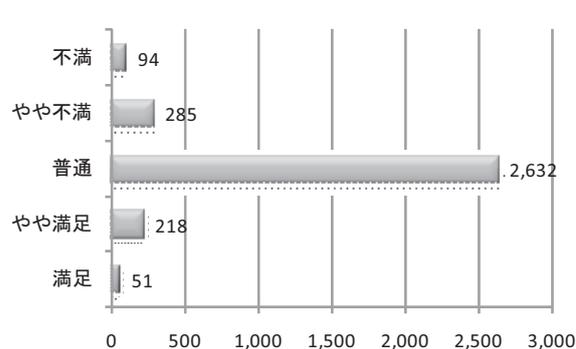


27. 障害のある児童などの教育環境（重要度）

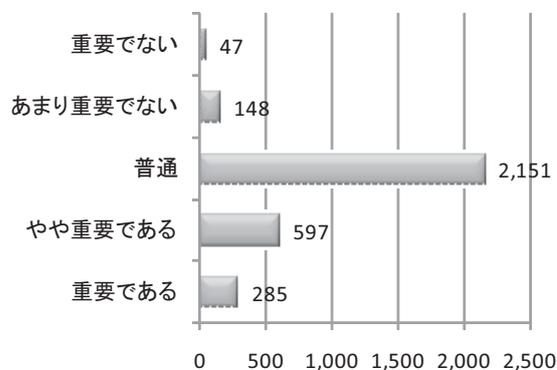


# Q13 板倉町の現状について

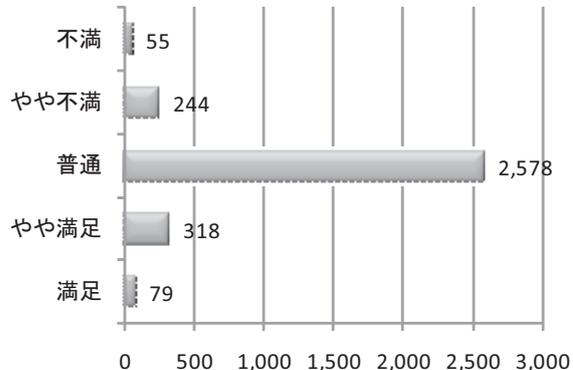
28. 芸術文化活動の促進（満足度）



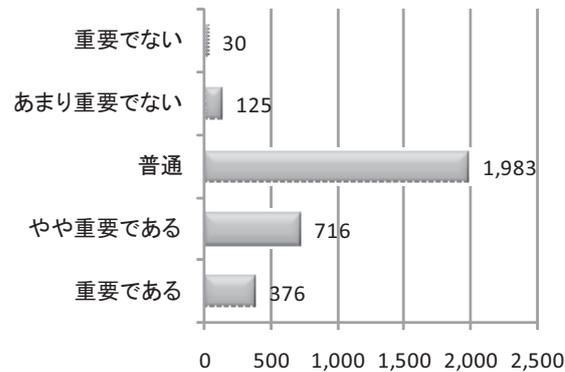
28. 芸術文化活動の促進（重要度）



29. 文化財や史跡の伝承保存（満足度）

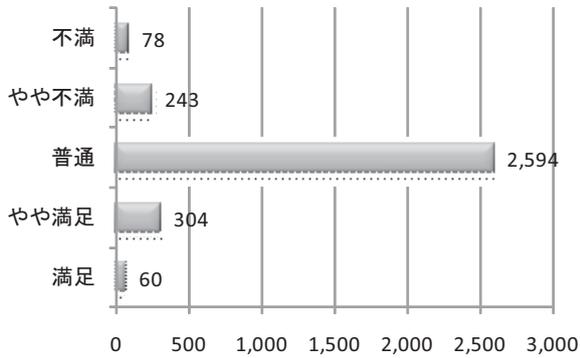


29. 文化財や史跡の伝承保存（重要度）

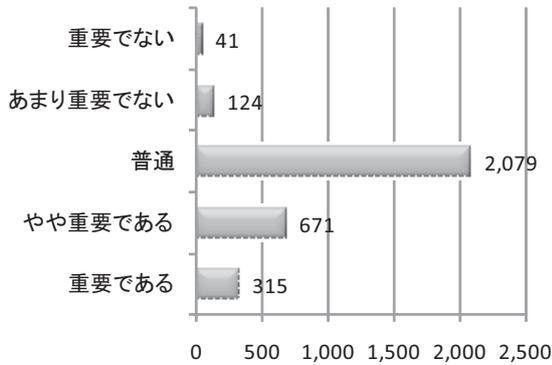


# Q13 板倉町の現状について

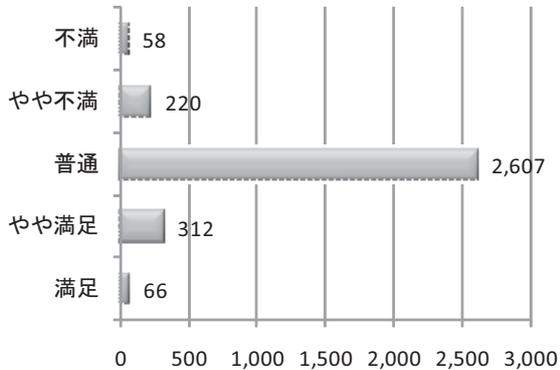
30. スポーツ活動の推進（満足度）



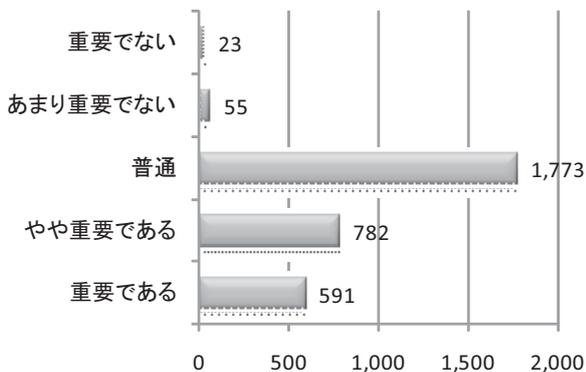
30. スポーツ活動の推進（重要度）



31. 青少年の健全育成（満足度）

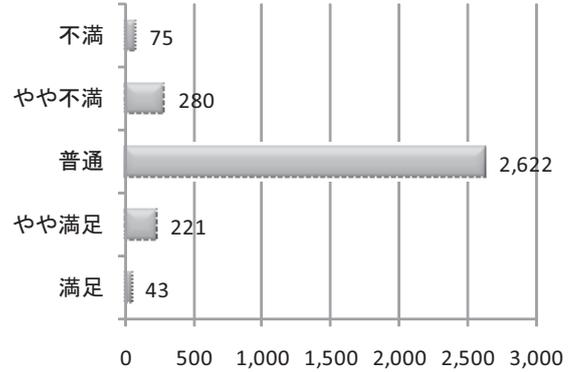


31. 青少年の健全育成（重要度）

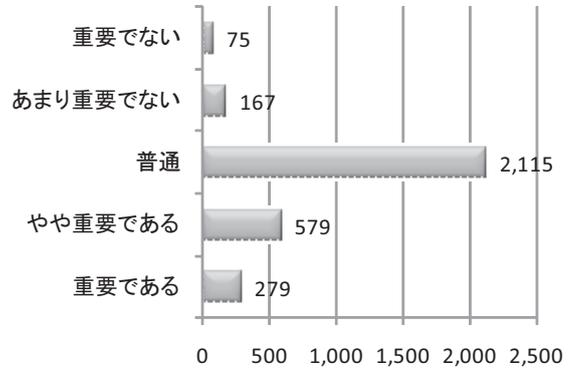


# Q13 板倉町の現状について

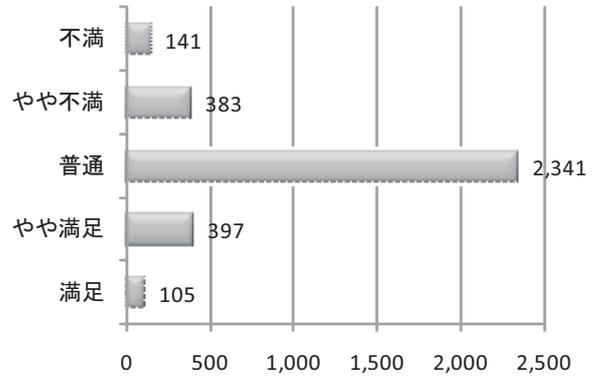
32. 国際交流・都市間交流（満足度）



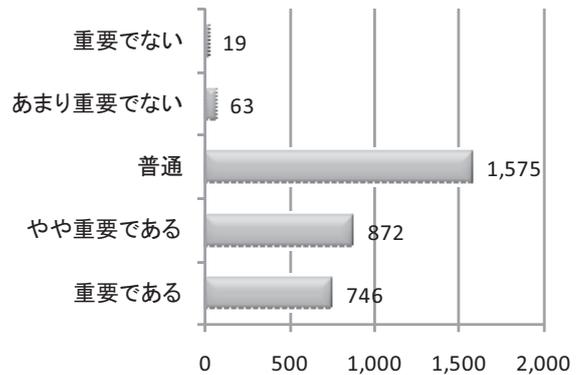
32. 国際交流・都市間交流（重要度）



33. 行政による情報公開（満足度）

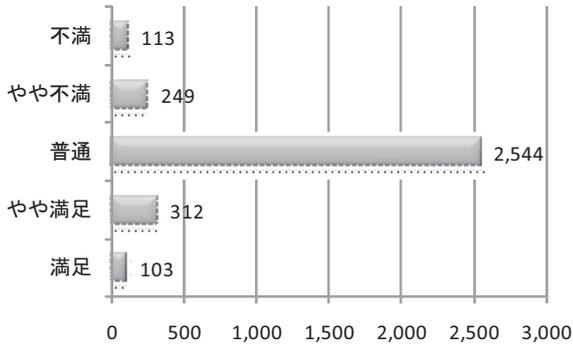


33. 行政による情報公開（重要度）

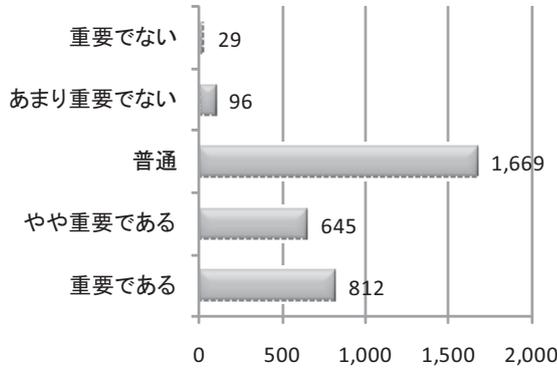


# Q13 板倉町の現状について

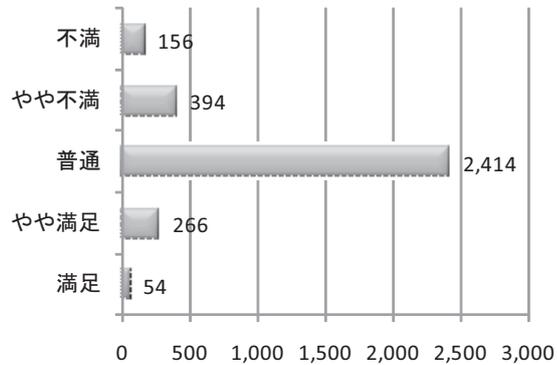
34. 個人情報保護（満足度）



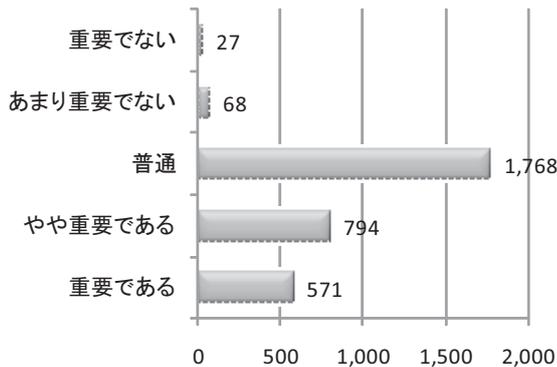
34. 個人情報保護（重要度）



35. 情報・通信基盤の整備（満足度）

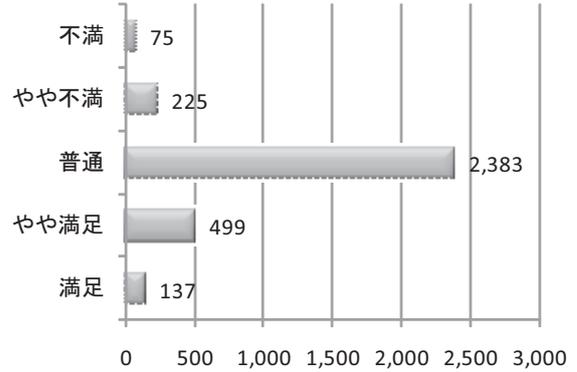


35. 情報・通信基盤の整備（重要度）

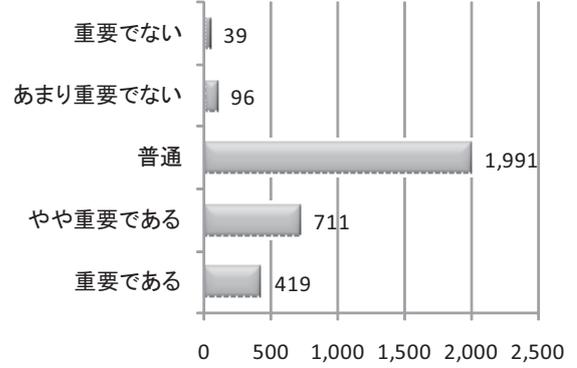


# Q13 板倉町の現状について

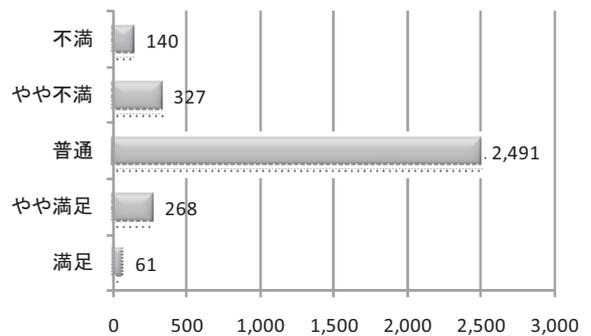
36. 広報活動の充実（満足度）



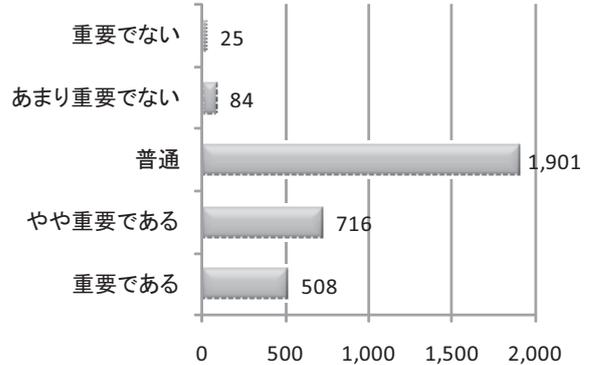
36. 広報活動の充実（重要度）



37. 広聴活動の充実（満足度）

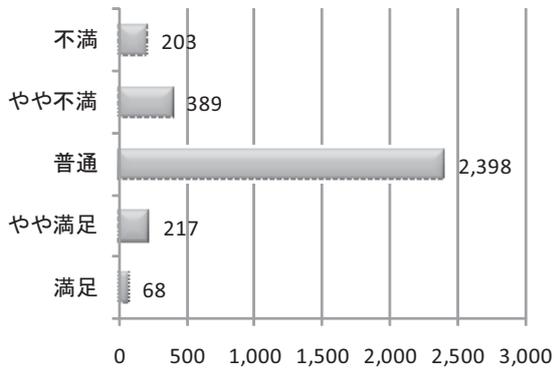


37. 広聴活動の充実（重要度）

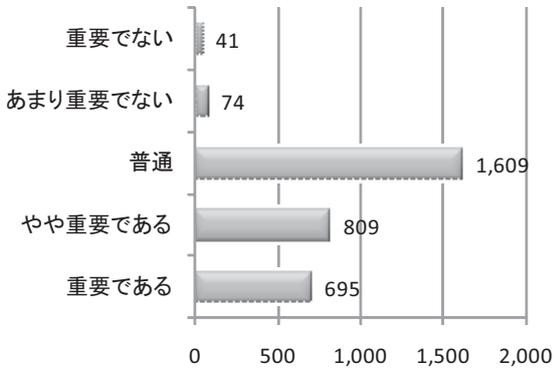


# Q13 板倉町の現状について

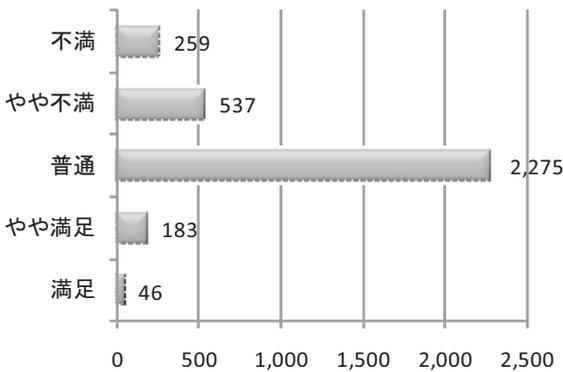
38. 農林業の育成支援（満足度）



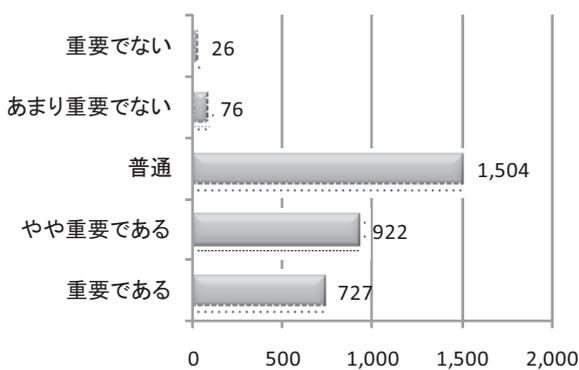
38. 農林業の育成支援（重要度）



39. 商業やサービス業の育成支援（満足度）

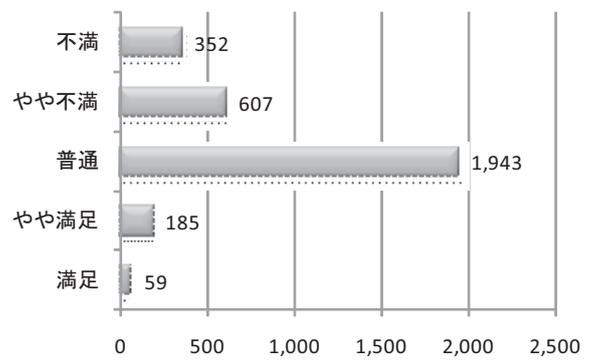


39. 商業やサービス業の育成支援（重要度）

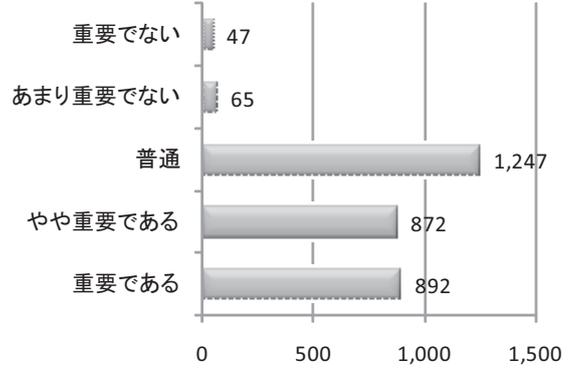


# Q13 板倉町の現状について

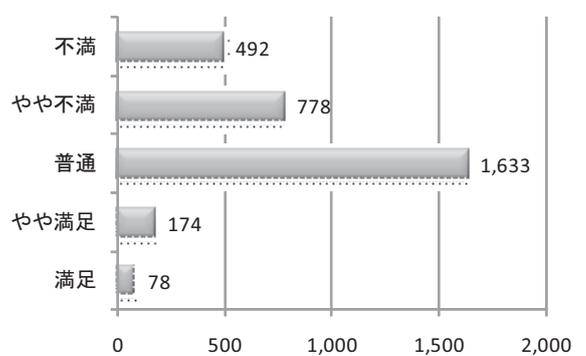
40. 工業の育成支援（満足度）



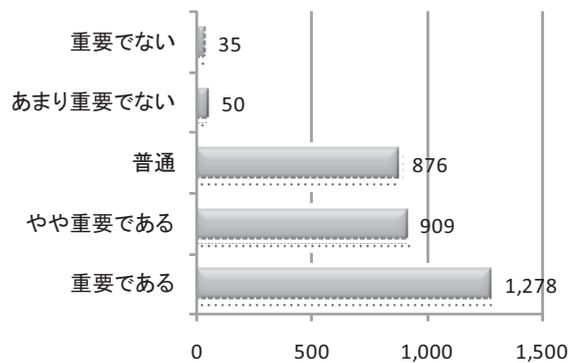
40. 工業の育成支援（重要度）



41. 雇用機会の創出（満足度）

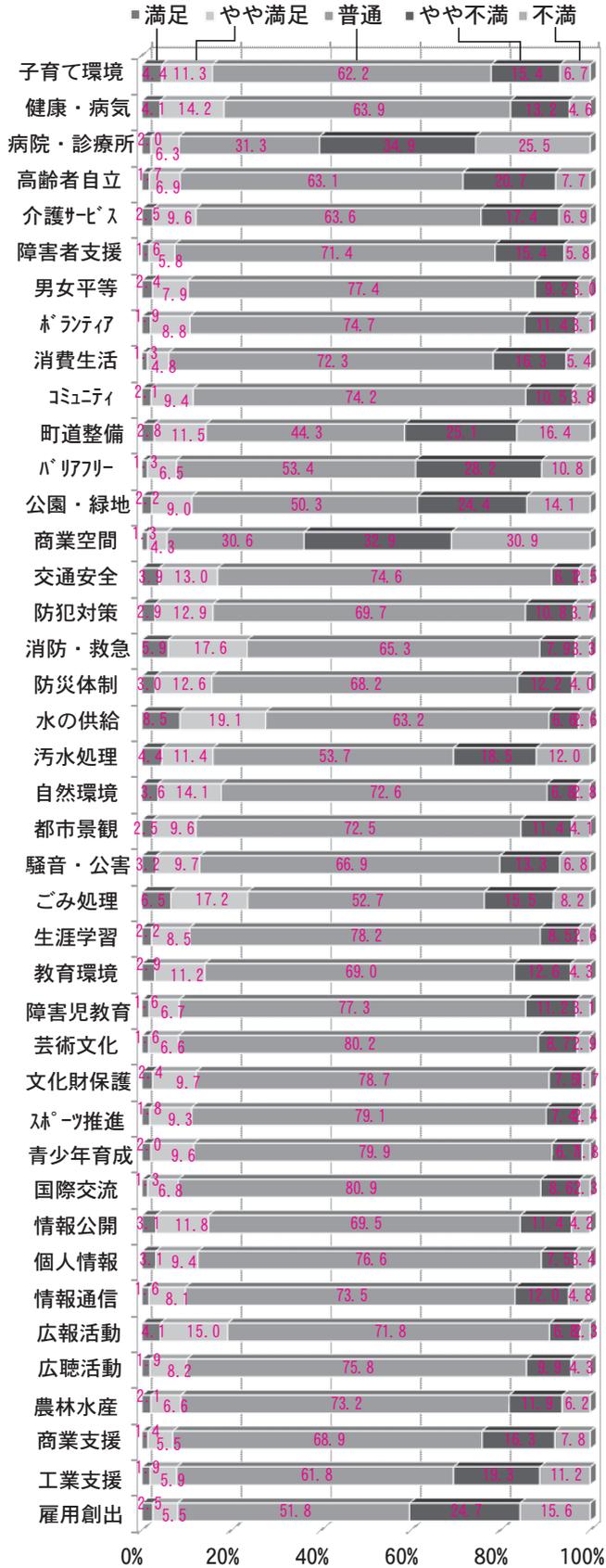


41. 雇用機会の創出（重要度）

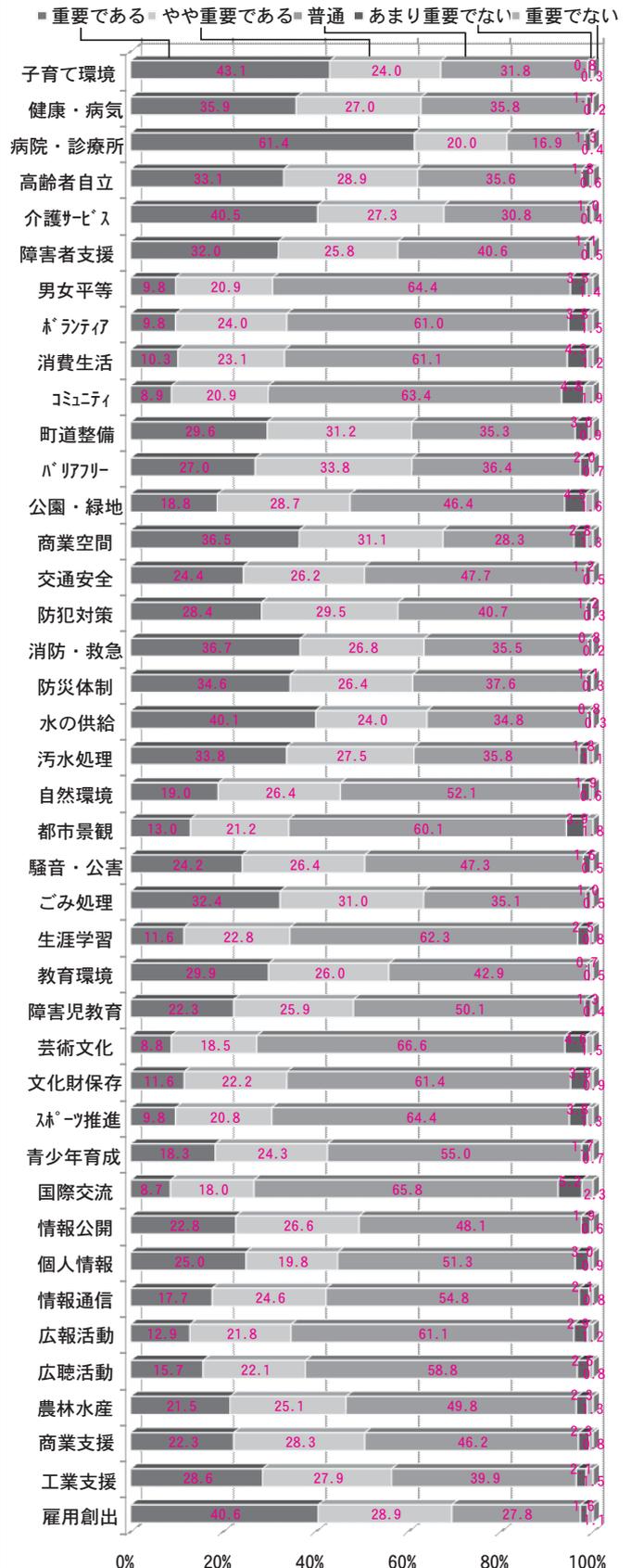


# Q13 板倉町の現状について

◆住民満足度について、各項目の比較グラフ



◆重要度について、各項目の比較グラフ

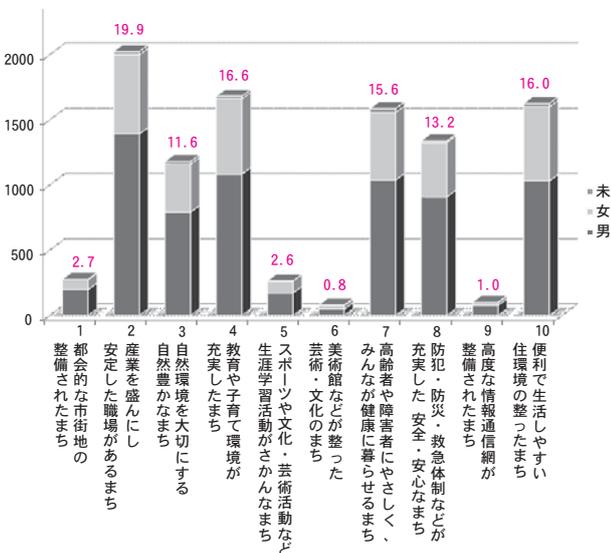


# Q14 めざすまちづくり

Q14. あなたは、今後の板倉町はどのような方向のまちをめざすべきだと思いますか？ あなたの考えに近いものを、次の中から3つまで選んで、番号に○をつけてください。

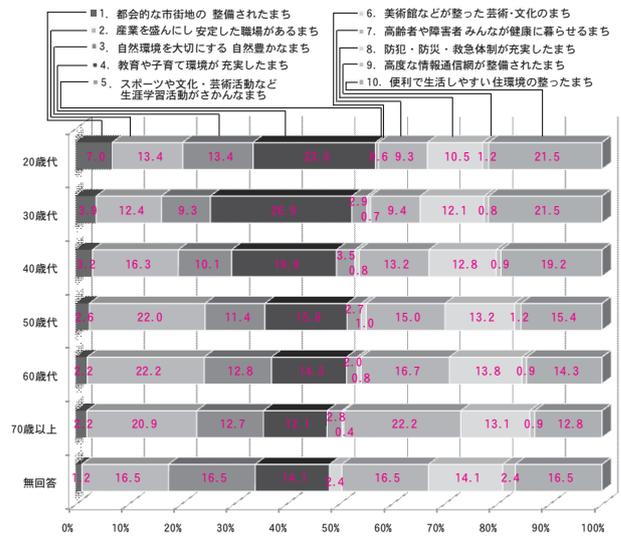
一番回答割合が高かったのが、「2. 安定した職場があるまち」で19.9%、次いで「4. 教育や子育て環境が充実したまち」で16.6%、「10. 便利で生活しやすい住環境の整ったまち」で16.0%と続きます。

区分	男	女	未	総計	構成比
1. 都会的な市街地の整備されたまち	198	74	4	276	2.7
2. 農業や工業などの産業を盛んにし、安定した職場があるまち	1,391	609	24	2,024	19.9
3. ごみや公害が少なく、自然環境を大切にす る自然豊かなまち	791	370	20	1,181	11.6
4. 子どもを安心して育てられる教育や子育て環境が充実したまち	1,082	579	20	1,681	16.6
5. スポーツや文化・芸術活動など生涯学習活動がさかんなまち	173	90	1	264	2.6
6. 美術館などが整った芸術・文化のまち	47	30	3	80	0.8
7. 高齢者や障害者にやさしく、みんなが健康に暮らせるまち	1,038	518	29	1,585	15.6
8. 防犯・防災・救急体制などが充実した、安全・安心なまち	910	415	12	1,337	13.2
9. 高度な情報通信網が整備されたまち	77	23	2	102	1.0
10. 通勤通学や買い物に便利で生活しやすい住環境の整ったまち	1,031	568	25	1,624	16.0
合計	6,738	3,276	140	10,154	100.0



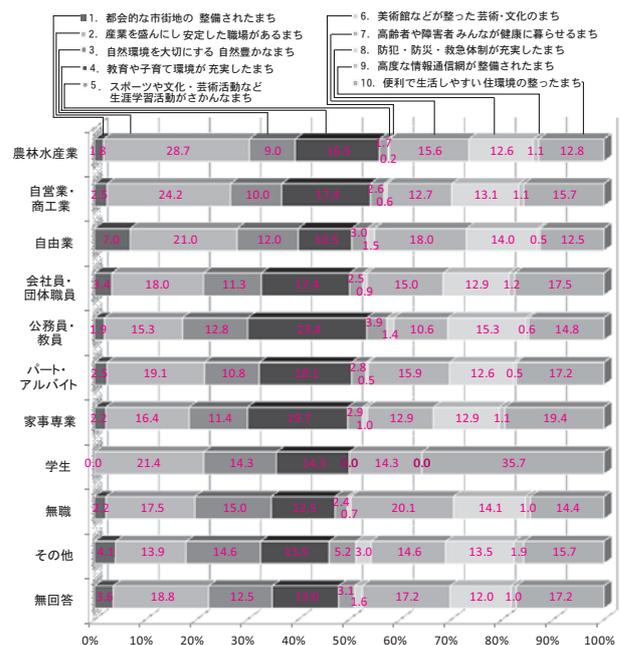
## ◆年代別でみた場合

20～40歳代では、「4. 子どもを安心して育てられる教育や子育て環境が充実したまち」と回答した割合が一番高く、50～60歳代では「2. 農業や工業などの産業を盛んにし、安定した職場があるまち」、また、70歳以上では「7. 高齢者や障害者にやさしく、みんなが健康に暮らせるまち」の回答割合が一番高い結果となりました。



## ◆職業別でみた場合

農林水産業、自営業・商工業、会社員・団体職員、パート・アルバイトのかたにおいては「2. 農業や工業などの産業を盛んにし、安定した職場があるまち」の回答割合が一番高く、公務員・教員、家事専業のかたは「4. 子どもを安心して育てられる教育や子育て環境が充実したまち」の回答が高い結果となりました。



# Q15 まちづくりについてのご意見

Q15. 板倉町のまちづくりについて、ご意見があれば自由にご記入ください。

いただいた意見の中で非常に多かったものが「環境整備」と「商業施設の充実」、次いで「医療の充実」、「道路整備」と続きます。また、「公共施設の充実」「財政見直」「雇用促進」「ごみ問題」などの関係についても、多くの意見をいただきました。いただいたご意見の中からいくつか抽出し掲載します。

性別	意見
男性	ごみや公害、自然環境を大切に作る町づくり。高齢者や障害者の対応の良い町づくり。防犯、防災、救急体制の良い町づくりを実行してください。
男性	東洋大周辺の開発等が中途半端な感じがするので、再度、方向性を見直しを含めた新しいデザインが必要。
男性	環境の整備をしモラルある町づくりと教育。犬のふんの処理にモラルない飼い主が多く特に意見を言いたい。
女性	自然を残し、子供が安心して生活できる、皆が健康に暮らせる町を残したい。
男性	自然がたくさん残り首都圏にも近く町を興そうと思えばいくらでもある手段があるのに手が付けられていないもったいないと思う。
男性	板倉町全体あちらこちらに遊休農地がたくさん目につき、草や葎など人の背より高く伸びていて、景観がよろしくないと思われ、この草を町の予算で刈り取ってもらい、綺麗な風景の板倉町にしてみたい。
男性	・大企業が進出しやすくなる環境づくりが急務である。 ・信頼出来る総合病院をつくって欲しい。
女性	赤ちゃんからお年寄りまで安心して暮らせる町づくりを目指して欲しいです。地域の方々が年齢を問わず集まれる公園設備が出来れば町民同士の会話も増え少しは今より明るい生活をそして孤立を防げる事になるのではないのでしょうか？
男性	産業が栄えれば、職場が安定し、人が集まる。人が集まれば、生活しやすい環境が求められ、情報通信環境が発展し、防犯、防災、救急体制が必要になり整えられる。
女性	お年寄りが一人になっても、安心して暮らせる環境、緑花のたくさんある環境
女性	英国に点在する小さな町のような、緑と水の美しいガーデンタウンにして欲しいです。これから建てる建造物等もデザインの美しいもので統一して美しい質の高い町にして欲しいです。 可能なはずです。
女性	板倉町を都会にするのではなく、いつまでもカエルの鳴き声が聞こえるような子供から高齢者までも安心して暮らせるのどかな町にしてみたいと思います。
女性	・駅前空き地の有効利用を考えて欲しい。 ・急行（特急）を板倉東洋大前にとめて欲しい。

性別	意見
女性	若者が自分の住んでいる町を自信を持って友人に話すことが出来るようなまちづくりを希望します。今現在は何も無いところだね！と駅からおられた友人に言われるので、ちょっと引け目を感じている次第です。買い物も羽生、太田、足利、佐野に行っています。
女性	買い物する商店が近くなって不自由しています。季楽里店、福祉センター、中央公民館にバスで行かれるともっと多くの方が利用出来ると思います。高齢の我々が外出が自由に出来る町づくりを望みます。
男性	もう少し商業地域を増やすことが大事だと思う。せっかく大学ができて、今の学生はバイトするところもない。活性化を図るのであれば、若い人たちが安心、安全に暮らせる町づくりが大切だと思う。
男性	大きな商業施設の整備と大企業の誘致をすぐお願いします。買い物に行く時に館林まで行かなくてはいけないので。細い脇道が多く、車のすりかえが困難なので広げて欲しい。広げる予定の話があったが、そのまま細いままになっている道があるのですぐに広げてください。入院ができる病院を作ってもらいたい。
女性	買い物できる場所が少なすぎて、この先高齢になった時に不安を感じる。歩道がせまいところばかりで不便。子供を散歩に連れて行く時に危険を感じる。せめて、ベビーカーを安心して使えるくらいの道幅を確保してほしい。
男性	駅前に商店、飲食店がないのは不便。渡良瀬遊水地に他県から相当の数の人が来られるが、飲食店、喫茶店などが無い為一服する所がなくトンボ帰り、なんとも寂しい場所。集客力不足の要因にもなる。魅力ある店がほしい。
男性	24時間対応出来る病院の設立を望む。生活に安心感が欲しい。
女性	医療関係の充実を望みます。特に子供の予防接種、ワクチン等、無料化を期待しています。
男性	板倉町町内に総合病院の設立。間近に迫っている高齢化社会及び障害者に対応出来る救急体制の充実を計れる病院、施設を要望いたします。
男性	栃木～群馬～埼玉の道路整備を早急に実施すべき！町内での金銭の流れが少ないので、町の活性化が無い。隣接している市町村からも人の流れを作る為にも大規模な改革をしなくてはならない。役場の新築を進め、町の行政への安心感、期待感を高める。
未	南地区30年以上の谷田川の八間樋橋の拡幅の件ですが、大変な問題です。13区、14区、15区関係者一方交通です。現代に片側交通は八間樋橋しかない。谷田川合の川橋も354国道も大型車もすれ違いができません。歩行者や自転車も危険です。老朽化で大変危険です。早急ですね、国道354道路、早急に進めてください。
女性	谷田川の自然、揚げ舟は最高に素晴らしいと思います。雷電神社や天神様も立派です。ハートの遊水池も珍しいです。インターチェンジも近くにあるし、駅もあるし、もっと町外の人たちが訪れてもいいと思うのです。季楽里のところに日帰り温泉施設を作ったらどうですか？家族連れが一日遊べる板倉町になったらすてきだと思います。また、世代によっては、合併の意見が違うので集計が大変だと思いますが、1世帯に1通ではなく個人で記入という手段の方が良かったと思います。



# 板倉町の 合併について

今回実施させていただいた、「合併に関する町民意識調査」の回答結果から、町民の皆様の合併に対する関心は高いと感じております。「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」が合わせて約66%を占め、「関心がない」、「どちらかといえば関心がない」は合わせて約29%にとどまりました。また、合併の賛否では、「賛成」、「どちらかといえば賛成」が合わせて約46%となり、「反対」、「どちらかといえば反対」は合わせて19%となりました。今回のアンケート結果を見る限り、合併に賛成の方が多い結果となっていますので、板倉町の合併を今後どのような方向で進めるべきか検討を重ねていく必要があると考えております。

しかし、合併する相手、合併の規模を考えたとき、1市2町（板倉町・明和町・館林市）なのか、1市5町（館林市邑楽郡）なのか、1市1町（板倉町・館林市）なのか、さまざまメリット・デメリットを考慮し、検討をしていきますが、いずれにしても合併する相手があることでもありますので、今回実施した板倉町のアンケート調査を各市町で検討していただき、どのような対応をしていただけるのか注視していきたいと考えております。

板倉町長  
栗原実